

2 0 2 0 年 度

事 業 報 告

育 秀 会

2020年度 育秀会事業報告

1. 育秀会の基本精神・理念

社会福祉法人育秀会は、昭和27年に乳児院を創設した阿部秀世前理事長の創業の精神を引き継ぎ、「for others」を基本精神に、「安心・安全で快適な暮らし作り」を理念に社会福祉事業を推進しました。

2. 育秀会の運営報告

新型コロナウイルス感染症は、東京都でも感染者が激増しました。育秀会では、新型コロナウイルス感染症の対策として、入館時体温測定や体調確認、消毒・手洗いうがいの徹底、パーティションやオゾン発生器の導入などをはじめ、ご家族の協力による面会自粛やオンライン面会、Web会議やオンライン研修会等を行いました。しかしながら、令和3年1月17日に第3育秀苑で11名(特養入所者6名・ショートステイ利用者2名・職員3名)の感染者が発生しました。原因としては、ショートステイの方からの感染であったのか？退院し施設に戻られた方が病院で感染されてきたのか？職員が施設外で感染したのか？原因は不明ですが、約1か月半で無事に終息いたしました。今回の感染症発生で学んだことは、感染症発生時でも施設サービスを安定的に継続していく体制作りです。感染症患者が発生しても、患者が入院するまで数日間は施設内待機するので、きちんと隔離して感染を他の利用者に広めないよう努力しました。

「桜台地域集会所」に移転した桜台地域包括支援センターと常設型の「街かどケアカフェさくら」は、事業を開始しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域住民の交流などの事業は出来ませんでした。

第2育秀苑の認知症対応型通所介護は2020年1月末で休止していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、再開できず1年を経過し閉鎖しました。デイサービス事業に利用していた場所は、地域交流スペースと災害時の福祉避難所として今後は活用する予定です。

地域における公益的な取り組みである近隣の社会福祉法人とのネットワーク事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動停止のまま1年が過ぎましたが、これまでの交流を無駄にしないように他法人とのオンライン会議を続けました。社会福祉法人として地域の課題を見逃さず、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、緊急ショート等の支援を続けました。

3. 本部事業

(1) 理事会・評議員会の開催

① 理事会 3回（書面2回）開催し、重要事項について審議しました。

第1回理事会 令和2年5月30日（書面）

理事 同意書6名、監事 確認書2名

第1号議案 令和元年度事業報告（案）について

第2号議案 令和元年度決算報告（案）について

第3号議案 定時評議員会の決議の省略について

第4号議案 評議員選任・解任委員の選任について

第2回理事会 令和2年11月14日 理事6名、監事1名出席

第1号議案 運営規程の一部改正（案）について

第2号議案 第2育秀苑デイサービスセンターの事業廃止（案）
について

第3号議案 育秀苑厨房改修工事について

第4号議案 監事の欠員に伴う後任候補者の推薦について

第5号議案 第2回評議員会の決議の省略について

第6号議案 桜台2丁目2番4号の借地について

報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告

第3回理事会 令和3年3月27日（書面）

理事 同意書6名、監事 確認書2名

第1号議案 令和2年度第1次補正予算（案）について

第2号議案 令和3年度事業計画（案）について

第3号議案 令和3年度予算（案）について

第4号議案 規程の一部改正（案）について

第5号議案 労務管理システムの導入について

② 評議員会 2回（書面）開催し、重要事項について審議し、すべて可決承認された。

定時評議員会 令和2年6月20日（書面） 評議員 同意書7名

第1号議案 令和元年度事業報告（案）について

第2号議案 令和元年度決算報告（案）について

第2回評議員会 令和2年12月1日（書面） 評議員 同意書7名

第1号議案 監事の欠員に伴う後任候補者の選任について

(2) 監事監査

志田朝夫監事及び赤羽秀樹監事による監査を令和3年5月14日に行い、令

和 2 年度の事業報告及び決算報告の内容を吟味し内容の正しい事を確認しました。

(3) 借入金の償還 (令和 2 年度分)

①第 3 育秀苑建設資金

償還額 (令和 15 年度償還完了予定)

福祉医療機構借入	元金	9,948,000 円
	利子	1,327,431 円
	合計	11,275,431 円

償還財源

練馬区補助金	元金	5,000,000 円
都利子補給	利子	1,264,220 円
自己資金		5,011,211 円
	合計	11,275,431 円

4. 今年度の重点課題

(1) 育秀会ブランドの確立

1. 法人の理念・基本精神を全職員に浸透させました。
2. 各施設合同会議をオンライン会議も含め開催し、施設間の情報共有と標準化を図りました。
3. 各施設においてそれぞれのミッションを設定し、実行しました。
4. ホームページのリニューアルを行い、スタッフブログやインスタを発信しました。
5. 地域の福祉拠点として、地域包括支援センターと協同して緊急ショート
の受け入れ等を継続して行いました。

(2) サービス向上に対する取り組み

1. ケアプランのご意向に沿って、個人の希望に配慮した介護を徹底しました。
2. 各施設で法人内研修や外部研修をオンライン研修も含め活用し、サービス向上に取り組みました。
3. 職員の個々の目標設定を行い、資格取得の援助を行いました。
4. 定期的に施行している、「虐待の芽チェックリスト」を今年度も実施して、利用者本位の個別ケアが行われているかを振り返りました。

5. 利用者が安心安全で快適に暮らしていけるように、各施設では感染症予防対策のパーティションやオゾン発生器を設置しました。育秀苑では厨房改修工事を行い、第2育秀苑では介護ベッドの入れ替え、第3育秀苑では移乗補助リフトの導入など環境整備に努めました。

(3) 経営基盤の安定

1. 第3育秀苑での新型コロナウイルス発生の影響はありましたが、適切な対応を行い短期間に終息しました。
2. 事業所ごとの目標稼働率を設定し達成するように努力しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で達成できない事業所もありました。
3. 3施設で情報管理・法令順守についての研修を行いました。
4. 合同BCP(災害時における事業継続計画)会議を定期的に行い、災害時の防災対策を強化しました。
5. 合同医務会議で感染症対策等を話し合い、新型コロナウイルス感染症については、感染時のゾーン分け等を想定した予防対策をしました。

(4) 働きやすい職場づくり

1. キャリアパス制度に基づき、個人別のプログラムに沿った研修を実施し各レベル別に目標管理し人材育成を行いました。パートタイム・有期雇用労働法の対応について、働き方改革検討委員会で話し合いました。
2. 評価制度と目標管理制度を活用して各職員に応じた育成を行いました。
3. 出産・育児・子育て中の、女性職員の活躍が目覚ましく、今年度は9人が育児休暇を取り、2人が職場復帰しました。
4. タブレットの活用により業務改善に取り組みました。
5. 今年度は、障害者法定雇用率を達成しました

(5) 地域貢献への取り組み

1. 2002年から毎年開催している近隣町会との懇談会は新型コロナウイルスの影響で開催が出来ず、地域包括支援センターと協働して地域の課題に取り組みました。
2. 子供の居場所作り「ねりま☆わっくわく広場」も開催はできませんでしたが、地域の社会福祉法人との協力体制は維持し、オンラインで情報交換しました。
3. 練馬区内の特別養護老人ホームと協力して、オンラインを活用して、自施設での介護サービスの先進的な取り組みを報告し合いました。
4. 近隣の小・中学校へ出向いて一緒に高齢者疑似体験や車イス体験は実施

できませんでしたが、子供たちが介護に触れる経験を通して勉強できるように、車椅子の貸し出し等を行いました。

今年度は、納涼会や敬老会等の施設のイベントに、ご家族、ボランティアの方、町会の方にも参加して頂けませんが、施設内で利用者様と職員だけで行いました。

5. 福祉避難所として、各施設で規模を縮小して、地域町会との大災害想定訓練を実施しました。

育秀会レベル別研修・キャリアアップ研修報告

1 レベル別研修

研修名	参加人数			
	育秀苑	第2育秀苑	第3育秀苑	合計人数
レベル1 (3回/年)	2名	2名	2名	6名
レベル2 (2回/年)	1名	1名	6名	8名
レベル3① (1回/年)	2名	3名	2名	7名
レベル3② (1回/年)	2名	3名	2名	7名
レベル4 (1回/年)	0名	0名	0名	0名
レベル4 公開講座 (1回/年)	3名	3名	9名	15名
	10名	12名	21名	43名

※レベル4研修は感染症拡大防止対策の為、今年度開催分は中止。

※感染症の影響により、一部オンライン開催で実施。

2 新規採用入職者研修

2020年4月1日(木)

育秀苑	第2育秀苑	第3育秀苑	合計人数
3名	6名	0名	9名

※感染症の影響により、規模を縮小して実施。午後は各施設で必要な研修を実施。

3 公開講座

「認知症の基本的理解とケアの視点」

2021年2月20日(土)～2月27日(土) 収録型WEB研修 参加者 48名

(育：6名、第2：33名、第3：9名)

4 検討・研究発表会

- ・レベル1事例検討発表会
- ・レベル2事例研究発表会
- ・法人内研究発表会

感染症拡大の為、日程調整困難の為実施せず。

2020年10月26日(月) 前年度延期分を開催。

感染症拡大の為、日程調整困難の為実施せず。

5 昇任前研修

2021年3月19日(金)

	育秀苑	第2育秀苑	第3育秀苑	合計人数
係長	1名	0名	1名	2名
主任	0名	1名	1名	2名

2 0 2 0 年 度

事 業 報 告

育 秀 苑

2020年度 育秀苑事業報告

育秀苑では、昨年度に引き続き職員面談を行い、サービスの質の向上と意識改革、利用者、家族に寄り添ったサービスの提供に取り組みました。

また、新型コロナウイルスの対策として、徹底した感染予防対策、家族の協力による面会の自粛などにより、新型コロナウイルス及びインフルエンザによる感染もありませんでした。

昨年度(2019年)25名であった死亡退所が今年度(2020年)も21名と多く、原因として入所時に老衰が著しく、入所1年未満に死亡される方が11名と多いことが影響しています。

桜台地域包括支援センターは、前年度3月末に「桜台地域集会所」に移転し、「街かどケアカフェさくら」も開設、地域の拠点となりました。

1. 職員配置状況

今年度末の人員は77名で、常勤職員44名 非常勤職員33名です。【表1-①】
入職者は常勤職員9名(うち異動4名)非常勤職員7名、退職者は常勤職員6名(うち異動5名)非常勤職員4名でした。【表1-②】

2. 職員研修

内部研修として、施設内研修、法人で行うレベル別研修を行い、専門職としての資質向上に努めました。また、外部研修への参加についてはWEB研修を多く取り入れ、モチベーションの向上、技術向上を図りました。【表2】

3. 労務管理

目標管理、自己・他者評価を実施し、全職員との面談を行いました。
メンタルヘルス対策としてのストレスチェックを行いました。

4. 防災業務

コロナウイルスの影響により、人数が多く集まる訓練を行うことが難しく、4月は中止、そのほかに書面回覧による訓練を4回行いました。例年行っている総合防災訓練も消防署に立ち合いをお願いすることが出来ませんでした。少人数短時間で出来る限りの訓練を行いました。

5. 施設設備の改善

- ① コロナウイルス関連の助成金を利用し、見守りセンサーの導入と、タブレットでバイタル状態を確認できるケアバードの導入を行いました。これにより、職員の移動を最小限にでき、コロナウイルスの感染リスクを減らすことが出来ました。
- ② 11月に厨房改修を実施、空調、排水、電気、防火設備の工事を行い、職場環境の改善および業務の効率化を図りました。

【表1-①】

2020年度 職員配置及び移動状況

(1) 配置状況
特養 定員60名 ショート 定員5名 2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
施 設 長	1	1		
医 師	1		2	内科、精神科
事 務 員		2		
介護支援専門員	1	3 (兼務3)		
生 活 相 談 員	1	2		
介 護 職 員	19	19 (介護福祉士18)	13 (介護福祉士5)	常勤換算24.9人
看 護 職 員	3	3	2	常勤換算4.0人
管 理 栄 養 士	1	1		
調 理 職 員				委託
機能訓練指導員	1			2 あん摩マッサージ指圧・PT
クリーンスタッフ				5
宿 直 員				5
計	28	31 (兼務3)	29	

居宅介護支援事業所 2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
管 理 者	1	1 (兼務1)		介護支援専門員兼務
介護支援専門員	3	3	1	
計	4	4 (兼務1)	1	

地域包括支援センターおよび生活支援員センター 2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
主任介護支援専門員	1	1		
社 会 福 祉 士	1	1		
保 健 師 (看護師)	1	1		
介護支援専門員	2	1	1	
訪問支援員	2	2		
生活支援員	2	2		
ケアカフェさくら担当	1	1	1	
事務員	1		1	
計	10	9	3	
合 計	42	44 (内兼務4)	33	

【表1-②】

(2) 職員異動状況

常勤職員 採用

2021年3月31日現在

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2020.4.1	採用	介護職員	1					
4.1	採用	介護職員	1					
4.1	採用	生活支援員				1		
7.1	採用	介護職員	1					
12.1	採用	看護職員		1				

常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2020.4.1	異動	訪問支援員				1		第3育秀苑へ
4.1	異動	生活支援員				1		第2育秀苑へ
4.1	異動	介護支援専門員			1			第3育秀苑へ
4.1	異動	訪問支援員				1		第2育秀苑より
4.1	異動	介護支援専門員				1		第3育秀苑より
4.1	異動	ケアカフェ職員				1		第2育秀苑より
7.1	異動	介護職員	1					第3育秀苑へ
2021.2.1	異動	介護職員	1					第3育秀苑へ
2.1	異動	介護職員	1					第3育秀苑より

常勤職員 退職

年月日	退職	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2020.9.30	退職	ケアカフェ職員				1		

非常勤職員 採用

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2020.4.1	採用	事務員				1		
8.3	採用	洗濯室	1					
9.1	採用	看護職員		1				
9.1	採用	事務員				1		
11.27	採用	介護職員	1					
2021.3.1	採用	介護職員	1					
3.11	採用	事務員				1		

非常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2020.8.11	退職	事務員				1		
11.30	退職	介助員	1					
11.30	退職	看護職員		1				
2021.2.28	退職	事務員				1		

2020年度 職員研修

(外部研修参加一覧表) 【表2-①】

部署	研修会名	部署	研修名
施設長	介護現場におけるハラスメント対策説明会	管理 栄養士	今、知っておきたいコロナ対策
	倫理及び法令順守		今求められる高齢者の栄養管理
	介護報酬改定研修		給食施設栄養技術講習会
特養	介護職員等によるたんの吸引などの実施のための研修	居宅	給食施設栄養管理者講習会
	次世代介護機器の活用		介護報酬改定(栄養関連)研修会
	介護技術に関する研修会		業務ミスに学ぶヒューマンエラーの防止対策
	介護報酬請求事務に関する研修会(基礎編)		新型コロナウイルス感染防止
	介護報酬請求事務に関する研修会(応用編)		質の向上ガイドライン研修 基礎研修
	介護報酬請求事務に関する研修会(応用編Ⅱ)		スーパービジョン研修 基礎研修①
	ソーシャルワーク研修会		認知症事例検討会
管理課	防災・減災対策セミナー	医療連携ワークショップ	
	倫理及び法令順守	事例から学ぶ！個人情報保護	
	介護現場におけるハラスメント対策説明会	今井塾！医療保険のしくみと後期高齢者医療制度	
医務	施設内リーダー職員(看護実務者)研修	読むだけでは伝わらない！介護サービス事業所で使用する契約書の説明の仕方	
	高齢者の結核対策	学ぼう！ファシリテーションスキルの基礎	

(施設内研修) 【表2-②】

	研修名		研修名
4月	拘束廃止・虐待防止	11月	個人情報保護・権利擁護
5月	リスクマネジメント①	12月	リスクマネジメント②
6月	感染症予防対策①(高齢者施設の感染症対策)	1月	褥瘡予防対策
7月	感染症予防対策②(食中毒)		看取り介護①
8月	排泄ケア		身体拘束廃止②
9月	認知症介護研修	2月	BCP
10月	感染症予防対策③(インフルエンザ・ノロウイルス)	3月	看取り介護②
			認知症

2020年度 防災訓練実施状況 【表3】

実施月	訓 練 内 容
4月	緊急事態宣言発令のため、開催なし
5月	自動火災報知設備操作説明（書面回覧）： 自動火災報知設備の操作マニュアルの書面にて回覧
6月	消火器、消火栓の使用方法訓練： 消火器、消火栓の使用方法を、マニュアルを参照しながら説明 参加者 11名
7月	三施設合同無線機使用訓練： 各施設合同で、無線機を使用した情報共有訓練を行った。 参加者 7名
8月	避難訓練（夜間想定）： 夜間に1階浴室での出火を想定した訓練を実施。 参加者 10名
9月	非常食炊き出し訓練： 地下を暗室にし、ランタンの明かりのみで非常食を実際に調理し、実食。 参加者 10名
10月	総合防災訓練： 総合防災訓練のシミュレーションを実施。 参加者 9名
11月	総合防災訓練（桜台二・三丁目町会と合同）： 桜台二・三丁目町会と合同で防災訓練を実施。B1階での出火を想定。 参加者 10名、町会 1名
12月	災害時の安否確認について（書面回覧）： 災害時役立つ安否確認のツールについて、書面回覧を行った。
1月	BCP（事業継続計画）説明会： BCPについての説明及び詳細検討を実施。 参加者 8名
2月	福祉避難所 マットレス、簡易間仕切り設営マニュアルについて（書面回覧）： 福祉避難所開設時の就寝場所を確保するため、設営マニュアルを書面回覧した。
3月	次年度防災計画について（書面回覧）： 今年度の訓練のまとめと、2021年度の防災計画の周知を書面回覧にて行った。

2020年度

育秀苑介護老人福祉施設

短期入所生活介護事業 事業報告

2020年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神「for others」、理念「安心・安全で快適な暮らし作り」を毎朝読み上げ、利用者が安心してお過ごし頂けるよう、一人一人に寄り添った支援を実践しました。
- ② 令和2年度ミッション「まごころで 思いやりながら チームケア」を達成するため、各自具体的な目標を立て、委員会等で随時振り返りを行うことで、職員の意識を高めました。
- ③ ホームページを利用して皆様にお知らせできるよう、活動の様子や行事の食事など写真を交えて掲載しました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① タブレットを8台導入、より迅速な情報共有を職員間で行い、利用者個々に寄り添った対応を充実できるよう努めました。
- ② ミッションを意識し、職員それぞれが具体的な目標を掲げてチームケアに取り組みました。また、新型コロナウイルスの影響で外部研修が中止になる事が多くありましたが、Web研修への参加の機会を積極的に設け、複数の職員が同じ研修を受講できる結果となり、委員会等に還元し、サービスの質の向上に繋げることが出来ました。
- ③ 「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修」を施設内で2名実施、また、指導看護師研修に看護師1名が参加し、合計3名が指導看護師となりました。
- ④ 面会の自粛の協力を家族に依頼した事もあり、より細やかな連絡を取る事で家族の声を聞き、サービスの質の向上に努めました。また、5月と11月に全職員を対象として虐待の芽チェックを行い、定期的に自身を振り返ることで意識を高めました。
- ⑤ 11月に厨房改修工事を実施、より安全な環境の元、食事の提供を行うことが出来るようになりました。

3 経営基盤の安定

- ① 特養の年間稼働率は96.3%で昨年度より1%上昇、入退所者は前年度より若干減少しておりますが、同時期に複数の退所者が続くこともあり、退所から入所まで

の空床期間の短縮が図れませんでした。

ショートステイの年間稼働率は64.8%、4月の緊急事態宣言の後、5月、6月の稼働率が30%台と低迷し、新型コロナウイルスによる利用控えや施設入所等により上半期が50.2%でした。下半期は緊急ショートも積極的に受け入れ79.5%とやや回復しました。新規利用者は28名と昨年度より5名多くご利用頂きました。特養・ショートの総ベッド稼働率は93.8%でした。

- ② 各委員会で計画に基づいた起案を作成することにより、スタッフにコスト意識が定着しました。
- ③ 来苑者の検温及び直近2週間の体調チェック、オンラインによる面会、職員の1日2回の検温の実施、フェイスシールドやゴーグルの使用、オゾン発生器の導入、アルコールやカンファ水による消毒等を行い、感染症予防の徹底を図りました。

4 働きやすい職場作り

- ① ICT次世代機器導入推進委員会を立ち上げ、職員へのアンケートやミーティング等を通し、見守りセンサーの導入、タブレットでバイタル状態を確認できる見守りセンサーの導入を実施、業務の効率化や職員の負担軽減を図りました。
- ② 定期的な面談に加え、希望時や必要時には職員及びリーダーとの話し合いの機会を設け、指導や目標設定、振り返りを行いました。
- ③ ストレスチェックを実施、風通しの良い職場風土や環境作りを行いました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 感染症予防対策のため、スペースの開放や意見交換会等は実施できませんでした。また、小中学校の交流も控える結果となりましたが、福祉の体験学習を目的とした授業での使用ということで依頼があり、小学校への車椅子の貸し出しを行いました。実習生に関しては、徹底した予防対策の元、受け入れを行いました。
- ② 地域との連携を継続する為、少人数の参加でしたが町会の方と合同で防災訓練を実施しました。

【表1】

特養稼働表

2021年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,800	1,633	90.7%
5月	1,860	1,767	95.0%
6月	1,800	1,794	99.7%
7月	1,860	1,833	98.5%
8月	1,860	1,825	98.1%
9月	1,800	1,788	99.3%
10月	1,860	1,829	98.3%
11月	1,800	1,738	96.6%
12月	1,860	1,734	93.2%
1月	1,860	1,757	94.5%
2月	1,740	1,601	92.0%
3月	1,860	1,783	95.9%
合計	21,960	21,082	平均 96.3%

(前年度平均 95.3%)

【表2】

在籍状況及び理由別入退所状況

2021年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所							
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計
4月	56	1	1	3	0	5	4	1	0	0	0	0	0	5
5月	56	1	1	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	2
6月	57	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	60	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2
9月	59	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1
10月	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	60	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	2
12月	60	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
1月	59	2	0	3	0	5	0	1	0	0	0	0	0	1
2月	59	1	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0	3
3月	58	0	0	4	0	4	2	0	0	0	0	0	0	2
計	704	5	3	17	2	27	21	2	0	0	0	0	0	23

○2020年度の死亡による退所は21名（前年度25名）、内15名は施設内で看取りました。

【表3】

年齢・性別一覧

2021年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	0	2	2
75歳以上80歳未満	3	5	8
80歳以上85歳未満	1	3	4
85歳以上90歳未満	4	18	22
90歳以上95歳未満	0	15	15
95歳以上100歳未満	0	8	8
100歳以上	0	1	1
計	8	52	60
平均年齢	83.4	88.7	88.0
	(85.7)	(88.8)	(88.4)

() 内は前年度

○前年度と比べると女性はほぼ変わらないが、男性は平均年齢が下がっている。

○最高齢 102歳、最年少 71歳

【表4】

要介護度構成

2021年3月31日現在

2020年3月31日現在		2021年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	0	要介護度 2	1
要介護度 3	5	要介護度 3	7
要介護度 4	31	要介護度 4	31
要介護度 5	20	要介護度 5	21
計	56	計	60
平均	4.26	平均	4.20

○要介護2は1名。要介護3が7名と要介護4は同数、要介護5が1名増えている。

【表5】

在所期間

2021年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	5	16	21
1年以上2年未満	1	8	9
2年以上3年未満	0	5	5
3年以上4年未満	1	9	10
4年以上5年未満	0	8	8
5年以上6年未満	0	4	4
6年以上7年未満	1	1	2
7年以上8年未満	0	1	1
8年以上9年未満	0	0	0
9年以上10年未満	0	0	0
10年以上	0	0	0
計	8	52	60

○在所期間2年未満が30名で50.0%となった。

【表6】

＜身辺自立状況＞
日常生活動作等の状況

2021年3月31日現在

入所者の日常生活動作等の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	21人 (17人)	32人 (31人)	一部：歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部：自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	7人 (14人)	13人 (7人)	一部：スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部：全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	21人 (21人)	37人 (32人)	一部：介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部：常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	25人 (20人)	33人 (35人)	一部：手を貸せば、着脱できる。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	7人 (6人)	53人 (49人)	一部：身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	55人 (53人)		自走：10人(17人)、一部介助：13人(9人)、全介助：32人(27人)
	認知症	55人 (52人)		認知症老人とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害 中度以上でその状況が、継続すると認められる者をいう。

※ () 内は前年度の数字

【表7】

＜事故 ・ ヒヤリハット報告＞

計 339件 (359件)	165件 (314件)	・ヒヤリハット報告（見逃せば事故につながった可能性が強いもの）
	194件 (212件)	・事故報告（行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの）

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	0 (1)
転倒・転落・滑落	17 (16)
外傷	129 (141)
異食	1 (0)
誤嚥	1 (1)
誤薬	3 (8)
その他	24 (27)
計	175 (194)

外傷141件中、3cm×3cm以下の皮下出血 94件

※ () 内は前年度の数字

【表8】

<入所者ならびに職員の健康診断状況>

(ア) 入所者

2021年3月31日現在

		人 数	検 査 内 容
入所者及び新規入所者の健康診断	実人数	82名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査(体調不良時など)	延人数	96名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

(イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
9 月	46名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 希望者はPWV(動脈硬化)検査
10 月	25名	介護者	腰痛健診(問診含む)
2 月	27名	介護者	腰痛健診(問診含む)
3 月	20名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重

(ウ) インフルエンザの予防注射

入所者	58名
職 員	65名

【表9】

<療養食>

2021年3月31日現在

食種	糖尿病食
人数	1

【表10】

<行事食>

・行事食実施回数 年28回

2021年3月31日現在

月	日	行事名	内容
4	22	春の旬野菜御膳	筍ご飯・吸物・鯖の大葉味噌焼き・新玉ねぎの和風サラダ・マンゴーヨーグルト
5	5	端午の節句	山菜の炊き込みご飯・赤だし汁・ぶりの照り焼き・筍とそら豆のくず煮・びわのコンポート
	10	母の日	ちらし寿司・吸物・蒸し鶏とラディッシュのサラダ・パバロア
6	12	郷土料理「京都」	かやくご飯・味噌汁・おぼんざい・水無月
	21	父の日	カツ重・なめこ汁・おくらと茗荷の和え物・なすの香味和え・フルーツポンチ
7	7	七夕	七夕そうめん・枝豆とコーンのかき揚げ・塩昆布サラダ・天の川ゼリー
	14	お盆	茗荷ご飯・味噌汁・かじきの梅肉ソース・アスパラの白和え・玉子豆腐夏野菜あん
	21	土用の丑の日	うな重・吸物・長芋のお浸し・胡瓜の浅漬け・抹茶プリン
8	9	夏祭り①	焼きそば・わかめスープ・じゃがバター&から揚げ・すいか
	10	山の日	和風カレー・吸物・おくらと山芋のサラダ・富士山ゼリー
	16	夏祭り②	やきとり丼・スープ・お好み焼き・メロン
9	13	敬老会	松茸ご飯・吸物・鮭の照焼き・天ぷら・炊き合わせ・果物 おやつ：紅葉羊かん
	28	秋の味覚御膳	栗ご飯・きのこ汁・さんまの竜田揚げ・蓮根の金平・梨
10	18	秋のレクリエーション大会	きのこの炊き込みご飯・吸物・鮭の山路焼き・彩り牛ごぼう・柿 おやつ：モンブラン
	25	郷土料理「四国」	ゆず風味ちらし寿司・そうめんのすまし汁・ぐる煮・みかんゼリー
11	25	リクエスト献立（和食）	ごぼうと舞茸の炊き込みご飯・カニの味噌汁・春菊と小海老のかき揚げ・柿の白和え・茶碗蒸し
12	20	クリスマス	エビピラフ・トマトクリームスープ・ミートローフ・クリスマスサラダ おやつ：ケーキ
	25		ジャムパン・シーフードクリームシチュー・サラダ・キウイフルーツ
	31	大晦日	年越しそば（エビ天）・ほうれん草と湯葉のお浸し・みかん
1	1	正月祝膳	カニちらし寿司・吸物・カレイの照り焼き・お節盛り合わせ・果物 おやつ：松竹梅羊かん
	2	正月	赤飯・味噌汁・天ぷら・ほうれん草の菊花和え・パイ
	3		五目炊き込みご飯・のっぺい汁・松風焼き・かぶのかにあんかけ・みかん
	7	七草	七草粥・車麩の煮物・プロッコリーの和え物・たいみそ
	15	小正月	小豆粥・味噌汁・がんもの煮物・いんげんのおひたし
2	2	節分	大豆と舞茸のかき揚げ重・いわしのつみれ汁・カニ入り茶碗蒸し・いちご
	26	郷土料理「北関東」	釜めし風炊き込みご飯・こしね汁・れんこんのおろし揚げ・いちご
3	3	ひな祭り	ちらし寿司・吸物・菜の花のおひたし・筍の土佐煮・いちごのミニパフェ おやつ：甘酒・ひし餅羊かん
	19	お花見御膳	菜の花の炊き込みご飯・若竹汁・セリと小海老のかき揚げ・春キャベツのお浸し・いちご

その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（週1回）

【表11】

<家族との連携状況>

(1) 月別の面会状況

2020年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	20	0	16	36	42	51	44	56	42	10	15	5

計 337人 月平均 28人

○ 基本的にはオンライン面会とし、お看取りの方は、個別対応実施。

(2) 外泊の状況について

○ 外泊者は0名でした。

(3) 家族との連絡

○ 定期的連絡 年12回（毎月の行事及び各利用者の先月の様子を含めたお知らせを送付）

○ 介護保険に関する連絡 随時

○ 利用者の健康状態などについての連絡 随時

○ ケアプランの承認及び、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 随時

○ 予定していた家族懇談会は、感染症予防対策のため未実施

【表12】

<実習生の受け入れ状況>

2021年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
東京福祉保育専門学校	介護福祉士実習	3人	70日	
日本福祉教育専門学校	社会福祉士実習	1人	30日	
淑徳大学短期大学部	社会福祉士実習	1人	30日	
計		5人	130日	

<地域との連携（社会資源）及び、ボランティア活動>

2021年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
桜台2・3丁目町会	災害協定・防災合同訓練・祭礼等	1人	無
東京福祉会	葬祭等相談・供養会・イベント紹介	2人	無
練馬理髪組合	出張理容	12人	有
神の教会保育園	訪問交流	0人	無
力行幼稚園	訪問交流	0人	無
にじいろ保育園	訪問交流	0人	無
個人ボランティア	洗濯物整理・編み物	77人	無
グループボランティア	花あそび・演奏会	0人	無
シルバー人材	清掃	1人	無

【表13】

<クラブ（サークル）参加状況>

2021年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
レク活動	月間 41人	職員	無	週 3回
園児交流会	感染症予防対策のため未実施			
金管楽器音楽会				
花あそび				

【表14】

2020年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内容
4	1	水	花見	苑内の枝垂れ桜を鑑賞し、外気浴をしました。
5	5	火	端午の節句	花菖蒲と五月人形を飾って端午の節句を祝いました。
	10	日	母の日	赤いカーネーションの花束を用意し記念撮影をし、行事食で母の日を祝いました。
6	21	日	父の日	ひまわりの花束を用意し記念撮影をし、行事食でお祝いをしました。
7			供養会	未実施
8	9、16	日	育秀苑祭り	職員による出し物と模擬店を中心に楽しみました。
9	13	日	敬老祝賀会	長寿の祝い品をお渡しし、長寿を祝いました。
10	18	日	レクリエーション大会	プロジェクターを使用し、紅葉の映像鑑賞、秋の歌を歌い楽しみました。
11	9～16	月～月	開設記念の作品展	作品の展示、写真を展示しました。
12	20	日	クリスマス会	職員による演奏会の実施、サンタクロースに扮した職員と記念撮影をし、行事食を楽しみました。
1	1	火	新年祝賀会・初詣	元旦祝膳で新年を祝いました。
2	3	水	節分豆まき	鬼に扮した職員に豆をまき1年の健康を願いました。
3	3	水	雛祭り	1Fフロアに雛人形、桃の花を飾り節句を祝いました。

通 年	金管楽器音楽会	感染症予防対策のため未実施
	園児訪問	
	趣味活動 (花あそび)	
	被服販売会	

【表15】

ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規 利用者数
	枠	利用日数	利用率	利用可能 日数	利用数	利用率	
4月	150	89	59%	167	0	0%	0
5月	155	53	34%	93	0	0%	0
6月	150	58	39%	6	0	0%	2
7月	155	84	54%	27	0	0%	4
8月	155	99	69%	35	8	20%	8
9月	150	68	45%	12	0	0%	1
10月	155	122	81%	31	7	22.6%	3
11月	150	115	75%	62	0	0%	2
12月	155	107	69%	126	8	6.3%	2
1月	155	138	92%	103	12	15.5%	5
2月	140	90	64%	79	0	0%	0
3月	155	123	79%	77	1	1.3%	1
合計	1830	1146	平均 64%	818	88	平均 4.8%	28名
	(前年度平均 84%)			(前年度平均 7%)			

【表16】

ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	7	40	29	6	7	89
5月	0	0	13	0	27	0	13	53
6月	0	0	7	0	0	44	7	58
7月	0	2	7	14	12	26	23	84
8月	0	0	17	17	5	58	10	107
9月	0	0	16	17	10	17	8	68
10月	0	0	30	18	29	36	16	129
11月	0	0	3	28	34	37	13	115
12月	0	0	2	46	21	22	24	115
1月	0	0	17	37	28	25	43	150
2月	0	0	21	23	10	8	28	90
3月	0	0	30	23	19	21	31	124
合計	0	2	170	263	224	300	223	1182
%	0%	0%	14.4%	22.3%	19.0%	25.4%	18.9%	100%

2020年度

育秀苑居宅介護支援事業 事業報告

今年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ①育秀会の基本精神・理念である「for others」「安心・安全で快適な暮らし作り」を基に、利用者の心に寄り添う支援を目指し地域社会作りに職員一丸となって取り組んで参りました。また各関係機関・事業所と連携しながら福祉と医療のネットワークを構築し、公正中立で総合的なサービスを提供し、地域に根ざした信頼される事業所作りに取り組んで参りました。
- ②合同居宅会議や勉強会の開催については新型コロナウイルス感染拡大を受け予定通り開催する事が出来ず主に書面回覧を実施いたしました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ①利用者の意向及び人格を尊重し、また利用者・家族に分かり易い説明を行い自立した日常生活を営む事が出来るよう利用者本位の支援を心掛け取り組んで参りました。
- ②新型コロナウイルス感染が拡大している中、可能な限り法人内研修や「練馬介護人材育成・研修センター」「けあまねりま」「ケアマネジャー連絡会」「事連協連絡協議会」等の外部団体が主催する研修会に参加し、資質向上に努めて参りました。
- ③事業所内での職員間の情報交換・課題の共有・相談援助をスムーズに行う事が出来るよう、毎朝のミーティングや週一回の週定例会を開催しケアプラン作成能力向上に努め専門性の高い人材育成に取り組んで参りました。
- ④「個人情報持ち出し管理簿」を運用し個人情報の適切な管理を行って参りました。また、毎月の提供票、居宅サービス計画書などの書類の郵送およびファクシミリ利用の際は、細心の注意を払い誤送付事故の防止に繋げる事が出来ました。

3 経営基盤の安定

- ①地域共生社会の実現に向けたネットワーク構築を構築し、利用者・家族のニーズに沿ったケアマネジメントの提供に努めて参りました。
- ②1人当たり担当件数35件を目標として、地域包括支援センター等と連携を密にとりケアマネジメント依頼時はいつでも相談を受けられるよう体制を整え特定事業所加算算定の維持・継続に努めて参りました。達成率としては90.8%と達成には至りませんでした。前年度達成率と比べ約9.8%向上する事が出来ました。また特定事業所加算算定要件を満たす為、24時間連絡体制の確保、東京都介護支援専門員実務研修実習生の受け入れ、地域包括支援センター主催の事例検討会への参加、他法人との共同事例検討会の開催等を実施いたしました。

- ③介護保険法改正等について理解を深め「介護報酬」や「運営基準の変更」「加算要件の

変更」など、常に最新の情報を収集し法令遵守に努めて参りました。また「運営基準減算チェック表」を用いて毎月の業務を確実に遂行し、運営基準減算に該当しない居宅介護支援に取り組んで参りました。

- ④災害時の要援護者リストを作成し担当利用者の緊急時の連絡先を適宜確認しながら、災害発生時の危機管理意識の向上に努めて参りました。

4 働きやすい職場作り

- ①毎朝のミーティングや週に一回の定例会議等で情報共有を行い、担当職員が不在でも事業所として他の職員が対応する等、休暇が取りやすく安心して勤務の出来る、「ライフワークバランス」のとれる職場環境作りに努めて参りました。
- ②安定した職員体制を整え法人研修、外部研修に参加しやすい環境作りに努め、質の向上、自己研鑽に努める機会を確保し長期的な視野で人材育成を行って参りました。
- ③円滑で計画的な業務運営遂行を目指し超過勤務を縮減・有給休暇取得率の向上に努めて参りました。
- ④管理者は、職員の労務環境整備、定期的な面談、職員とのコミュニケーションを図り、職員の心身の健康等を日常的に観察しサインを見落とさないように努め働きやすい職場作りに取り組んで参りました。

5 地域貢献への取り組み

- ①新型コロナウイルス感染が拡大している中、可能な限り地域ケアセンター会議・地域ケア圏域会議、地域密着運営推進会議等に参加し地域の民生児童委員・老人会・町会・自治会・介護事業者等との連携・顔の見える関係づくりに努めて参りました。
- ②毎月定例の防災会議については新型コロナウイルス感染拡大を受け書面回覧も併せて開催・参加し意識の強化を図って参りました。

要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1・2 事業対象者	11	15	16	17	15	14	15	15	15	14	14	13	174
要介護 1	38	44	45	45	48	46	52	47	44	41	41	47	538
要介護 2	54	55	57	56	58	56	62	60	57	54	56	60	685
要介護 3	23	21	22	22	23	24	24	25	27	26	28	28	293
要介護 4	16	15	21	22	19	18	18	21	18	16	17	18	219
要介護 5	5	5	6	10	8	9	9	8	12	10	8	9	99
介護合計	136	140	151	155	156	153	165	161	158	147	150	162	1834

2020年度

事業報告

第2育秀苑

2020年度

第2育秀苑事業報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により予定していた行事など大半が中止となり、今までにはない1年となりました。

施設に感染症を持ち込まないよう外部の方の出入りを制限し、職員自身が感染源とならないように感染症対策の研修や訓練を繰り返すなど徹底した感染対策を講じました。特養では面会を自粛していただき、趣味活動や傾聴など直接利用者に関わるボランティアの受け入れを中止せざるを得ない状況ではありましたが、感染対策を講じたうえで、少しでも楽しんでいただく時間を持っていただくようにと職員が様々な工夫を凝らしたレクリエーションを開催したり、新たな取り組みにチャレンジした1年にもなりました。

在宅部門においても、改めて感染対策の重要性を認識し、職員一人一人の意識向上を図り、実践に取り組む一年となりました。新型コロナウイルス感染症の流行による影響を抑え稼働を維持できたことは、利用者の方々や地域のご理解やご協力があったからだと思います。ミッションである『声は心へ聴く・伝える・届ける～』をより強く意識しながら、コロナ禍だからこそきめ細やかな対応に取り組んできたことも稼働維持の要因の一つであったと思います。

認知症対応型通所介護事業につきましては、2020年1月31日をもって休止としておりました。1年が経過し再開の検討を重ねている中で、新型コロナウイルス感染症の流行により状況が大きく変化し、感染対策を含めた事業の再開は難しく、新たな人材の確保も極めて困難な状況とであると判断し、練馬区とも協議を重ね、2021年1月31日をもって事業を廃止といたしました。デイサービスのスペースにつきましては、特別養護老人ホームとして地域交流の場や、災害時の福祉避難所として活用してまいります。今後も法人や介護サービス事業所との連携を図り、地域の社会福祉に貢献したいと考えております。

1. 職員の配置

2021年3月31日現在で常勤職員43名、非常勤職員46名、計89名体制で職員を配置しました。【表1-①】

2. 職員の採用

2021年度の採用は【表1-②】の通りです。

- 1) 正規職員については、新規採用3名、他施設からの異動2名、退職者1名、他施設への異動4名でした。
- 2) 非正規職員については、新規採用7名、退職3名でした。

3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症の流行により、オンラインや動画を活用した研修を開催するなどして、職員一人一人の知識向上に努めました。また、外部研修においてもオンライ

ンでの開催が主流となり、タブレット等を活用し研修に参加しました。区内の他法人との連携研修にも参加し、施設間の連携を図るとともに、職員の意識向上につながりました。【表-2①②】

4. 防災管理

集合での訓練実施に制約があるなか、今年度は机上訓練や動画視聴を中心に防災委員会を開催しました。定期的を実施している訓練や策定したBCP（事業継続計画）の確認及び評価等を行い、職員の防災意識を高めると共に訓練における改善事項の検討、見直しを行いました。【表 3】

5. 環境衛生

感染対策として、各フロアや事務所にオゾン発生器を導入しました。また、日々の換気や消毒の徹底など、感染予防対策を講じるとともに、施設内における衛生環境の整備に努めました。

また老朽化により度々修理を繰り返していた福祉用具（ベッド・車椅子等）については、購入や修繕等の対応を行いました。昨年導入したタブレットは、記録の効率化を図ったり、情報共有のツールとして活用することで多職種間での連携を深め、サービスの向上につながりました。

【表1-①】

2020年度 職員配置及び異動状況

(1) 配置状況

特養 定員50名 ショート 定員6名

2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
施 設 長	1	1		
医 師	必要数		2	内科、精神科
事 務 員		2		
介護支援専門員	1	2(兼務1)		
生 活 相 談 員	1	2		
介 護 職 員	17	18(介護福祉士13)	7(介護福祉士2)	常勤換算22.8人
看 護 職 員	2	3	1	常勤換算3.8人
管 理 栄 養 士	1	1		
調 理 職 員				委託
機能訓練指導員	1	1	1	
クリーンスタッフ			5	
宿 直 員			4	
計	24	30(兼務2)	20	

訪問介護事業所

2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
管理者	1	1(兼務1)		
サービス提供責任者	3	3		
ホームヘルパー			25	
計	4	4(兼務1)	25	

地域包括支援センター

2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
主任介護支援専門員	1	1		
社会福祉士	1	1		
保健師	1	1		
介護支援専門員	2	2		
訪問支援員	2	2		
事務員			1	
計	7	7	1	

生活支援員センター

2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
生活支援員	2	2		
計	2	2		

合 計	35	43(内兼務3)	46	
-----	----	----------	----	--

【表1-②】

(2)職員異動状況

常勤職員 採用

2020年3月31日現在

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
2.4.1	採用	介護職員	2					新卒1名
3.2.1	採用	介護職員	1					

常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
2.4.1	異動	介護職員	1					第3育秀苑より
2.9.23	異動	相談員			1			第3育秀苑より
3.3.31	異動	相談員			3			第3育秀苑へ
3.3.31	異動	介護職員	1					育秀苑へ

常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
2.11.12	退職	相談員			1			

非常勤職員 採用

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
2.5.10	採用	ヘルパー		1				
2.5.20	採用	機能訓練指導員	1					
2.10.20	採用	クリーンスタッフ					1	育秀苑兼務
2.11.7	採用	宿直員					1	
2.12.7	採用	ヘルパー		1				
3.1.12	採用	運転手	1					
3.2.3	採用	事務員			1			

非常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
2.4.1	異動	生活支援員				1		育秀苑より
2.1.31	異動	介護職員	1					第3育秀苑へ
2.3.31	異動	介護職員	1					育秀苑へ

非常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
2.8.31	退職	ヘルパー		1				
3.3.31	退職	介護職員	1					
3.3.31	退職	宿直員					1	

2020年度 職員研修

(外研修参加一覧表)【表2-①】

部署	研修会名	部署	研修会名
施設長	令和2年度 給食施設栄養管理者講習会	特養	高齢者施設の感染症対策(新型コロナウイルス感染症対策)
	信頼関係を深め、やる気を促す育成面談		令和2年度社会福祉事業従事者人権研修【II】
	東京都 高齢者施設向け～防災・減災対策セミナー～		令和2年度介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修 高齢者虐待防止研修
	経営分析・財務分析に関する研修		介護事業のリスクマネジメント 基礎編
管理課	社会福祉法人・事業所におけるホームページ、SNSを活用した情報発信を考える研修会		産官学連携 高齢者施設における感染症研修会
	介護職採用の教科書WEBセミナー～伝わってますか、施設で働く価値～		新型コロナウイルス感染症対策に関する高齢者施設向けwebセミナー
	介護労働者雇用管理責任者講習		認知症の基本的理解とケアの視点
	今学びたい労務管理～もう先延ばしできない! 同一老健・同一賃金～、～知りたいコロナ禍の労務管理～		生活相談員リスクマネジメント研修～高齢者福祉施設の新型コロナウイルス対策～
	社会福祉法人・事業所におけるホームページ、SNSを活用した情報発信を考える研修会		㈱molten 主催リモート勉強会 褥瘡予防対策
	処遇改善加算セミナー		介護保険法改正及び介護報酬改定のポイント
	経営分析・財務分析に関する研修		結核予防講演会「高齢者の結核対策～コロナ禍における結核の平常時対策と発生時対応～」
東京都 高齢者施設向け～防災・減災対策セミナー～	練馬 他職種連携の会		
訪問介護	認知症の基本的理解とケアの視点		東京都高齢者福祉施設協議会職員研修委員会主催 介護報酬請求事務に関する研修会(応用編II)
管理栄養士	令和2年度 給食施設栄養技術講習会		
	認知症の基本的理解とケアの視点		
生活支援員			

(施設内研修)【表2-②】

	研修名		研修名
4月	法令遵守・倫理・防災・権利擁護。高齢者虐待・身体拘束・感染症・リスクマネジメント・個人情報(法人)	1月	看取り介護(高齢者施設の看取り介護、観察のポイント等)
5月	防災(BCPに沿った対応、訓練等)	1月	感染症(感染発生時の対応、シュミレーション)
6月	リスクマネジメント(事例から学ぶ介護リスクマネジメント)	2月	褥瘡予防(褥瘡とポジショニング～適切な姿勢と好発部位を知り予防しよう～)
7月	感染症(手洗い、予防着着用の実践)	2月	認知症ケア(「認知症の人の意思決定ガイドライン」及び記録等)
9月	リスクマネジメント(介護現場のリスクマネジメント)	3月	看取り介護(今年度の振り返り・「看取り介護の調査報告書」より)
10月	感染症(冬季感染症対策)	3月	身体的拘束適正化(不適切ケアから学ぶ高齢者虐待防止に向けた取り組み)
11月	身体的拘束適正化(動画「不適切ケア～自然にこんなことしていませんか?～」から学ぶこと)		

※感染症対策の為、書面や動画研修も併用実施。

2020年度 防災訓練実施状況 【表3】

実施月	訓 練 内 容
4月	防災設備の説明会、年間スケジュールの確認【書面】： 防災設備に関する説明を受けていない職員を対象として、少人数による説明会を別途開催
5月	BCP机上訓練： BCP（事業継続計画）のDVD視聴会を3日間開催する 参加者 13名
6月	3施設合同無線訓練： 3施設合同無線訓練の実施に当たって、震災発生時の被害状況報告の流れを確認する 参加者 8名
7月	3施設合同無線訓練： 福祉避難所に設置する無線機を使用して、3施設での合同無線訓練を実施 参加者 8名
8月	BCP机上訓練（水害）： 台風・大雨等による水害を想定したハザードマップを確認する 参加者 8名
9月	総合防災訓練： 11月に実施する総合防災訓練の手順確認、見直しを協議する 参加者 8名
10月	総合防災訓練： 総合防災訓練のシュミレーションを実施 参加者 8名
11月	防災総合訓練（羽沢町会と合同）： 羽沢町会と合同で防災訓練を実施。地震発生後に厨房での出火を想定。訓練終了後は羽沢町会員と地域防災への取り組みについて懇談する 参加者 13名、羽沢町会 1名 ※今年度は練馬消防署員の立ち会いを実施せず
12月	福祉避難所開設訓練： 福祉避難所運営ガイドラインに沿って避難所の理解、開設訓練の流れを学ぶ 参加者 8名
1月	夜間想定訓練（書面）： 東京消防庁が作成する「小規模社会福祉施設等の自衛消防活動要領（動画）」を各部署で視聴し、限られた人員での円滑な避難方法を学ぶ
2月	夜間想定訓練： 夜間想定訓練のシュミレーションを実施 参加者 8名
3月	夜間想定訓練、福祉避難所開設訓練： 介護職員 2名、宿直員 1名の人員体制で2階給湯室での出火を想定した訓練を実施 その後、福祉避難所に納品された備蓄物資を利用して避難所開設手続きを確認する 参加者 11名

2020年度

第2 育秀苑介護老人福祉施設

短期入所生活介護事業 事業報告

2020年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 法人理念に基づき、利用者個々の尊厳を尊重し、個別ケアの実践に取り組みました。また、週1回開催するケア会議において、職種間で協議し情報共有する事で連携を図りケアに当たる事が出来ました。
- ② 法人内3施設合同の会議をオンライン会議等も活用しながら開催し、情報共有を図りました。3施設で話合う事で新しい情報を把握し、チェック機能としても活かす事が出来ました。
- ③ 『声は心～聴く・伝える・届ける～』を令和2年度のミッションとしました。特養では行動目標を「私達は利用者様の声に耳を傾け、心のこもった言葉で伝え、真心を届けます」とし、朝礼での唱和や委員会での振り返りにより一層意識を高め、利用者・家族等からの思いを受け取り、丁寧にお声掛けをする事での気持ちが通ったサービス提供に結び付ける事が出来ました。
- ④ 季節毎の行事や普段のご様子、職員の研修等も含めてスタッフブログ、インスタグラムで定期的に配信致しました。家族にもお知らせすると共に、毎月のお手紙にも行事や日常のご様子の写真を同封し、面会制限がある中でもご様子が伝わるよう、情報発信に努めました。
- ⑤ 地域の福祉拠点として、第2 育秀苑地域包括支援センターとの連携により、地域の方々のご様子やニーズを把握・確認しました。少なからず関わりを持つ事で次年度以降への繋がりを継続しました。

2 サービス向上に関する取組

- ① 日々のケアにおいて利用者の意向を汲み取り、利用者の立場に立ったサービスに努めました。ケアプラン作成においても利用者・家族の意向を反映し、ケアを実践する事で一層のサービス向上に繋がりました。
- ② 法人内の研修に参加し、職員各々の能力や専門性に応じた知識、技術の習得に努めました。外部研修についてはオンライン研修等の活用も含めて参加し、その内容を報告、伝達し全体への周知を図りました。
- ③ 年度の節目に目標設定を個々で行い、書面や面談等を通じて把握し、資格取得や実践したい事について支援しました。
- ④ サービス向上委員会を中心に、年2回の「虐待の芽チェックリスト」を実施しました。集計結果をフィードバックし、振り返りや実践に移す事でより良いサービスの提供に繋がりました。

- ⑤ 定期的な車椅子点検を行い、業者への修繕依頼をスムーズに行う事が出来ました。介護用ベッドは、開設以来使用している物が経年劣化している事に伴い、一部入替を実施しました。利用者、職員共に快適に過ごしていただけるよう環境を整えました。

③ 経営基盤の安定

- ① 感染症対策を講じながら、利用者ニーズを把握した上で、出来得る対応を実施しました。難しい情勢の中、継続した事業運営を実施する事が出来ました。

② 特別養護老人ホーム

2020年度年間稼働率は98.1%でした。前年度(97.3%)と比較すると1%程度稼働が上がりました。要因としては入退所が少なかったことが考えられ、実数としては退所8名、入所8名でした。退所から入所までの平均空床期間は12.6日で前年の13.5日と比べ1日短縮されました。空床期間は積極的にショートステイを受け入れ、特養ショート総ベッド稼働率は99.8%を達成しました(前年度99%)。

入退院については9月下旬から12月中旬まで78日間に渡って長期入院となったケースがあり、調整が難航しました。今後も入所契約時の説明にてご家族に理解いただけるよう努め、入所待機者を少しでも早くご案内できるよう調整していきます。

ショートステイ

2020年度年間稼働率は104.3%でした。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用を控える方もいらっしゃる中、定期利用者や、新規利用者を継続的に確保する事で安定した稼働率を維持する事が出来ました。新規利用者は14名でした。

利用者の多様なニーズに対しては、体制が整っている部分において積極的な受入れを図り、緊急ショートステイなどの受け入れを行い、特養空きベッドの有効利用にも努めました。

- ③ 情報管理について、職員研修等を通じて教育を実施しました。感染症の影響によるオンライン面会、研修等で各種システムを活用する中においては、情報活用・保護についても法令遵守するよう、会議の場で周知を図りました。

- ④ 法人作成のBCP(災害時における事業継続計画)に沿い、訓練を実施しました。

- ⑤ 定期的に感染症対策委員会、研修会を開催しました。今季は新型コロナウイルス感染症対策等について、臨時委員会の開催と研修会、シュミレーションを実施しました。感染予防、対策について職員が統一した見解を持つ事が出来ました。

毎月の衛生委員会において、職員の衛生管理について情報提供、共有を図り意識向上に努めました。

④ 働きやすい職場作り

- ① 感染症対策でオンライン開催となった面接会も含め合同面接会等に参加し、施設概要や魅力を発信し人材獲得に努めました。

- ② 目標管理制度やキャリアパス制度の活用により、個々の専門性を高めるとともに、職員の能力に応じた指導を行うなど、人材の育成に努めました。

- ③ 職員面談等により、ライフステージの変化等を把握、加味した上で、人員配置、業務内容の見直しを行う等して活躍出来るよう職場環境を整えました。

- ④ タブレット端末の活用により、一部業務改善に取り組みました。また新型コロナウイルス

感染症の影響により、面会に制約がある中、タブレット端末活用によるオンライン面会を実施する事で、少しでもご様子が伝わる様に対応しました。

今年度は集合する形での研修や勉強会開催が難しい中、オンラインシステムを活用して研修を開催する等し、学びの機会も出来る限り維持する事が出来ました。引き続き効率的なICT機器導入、活用に向けて随時見直しや検討をし、業務負担軽減に繋がるよう取り組みます。

⑤ 地域貢献への取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により、集合する形での地域活動ではなく、地域包括支援センターと協働しながら、地域のニーズや課題を伺い、社会福祉法人の公益的な取り組みとしての責務を果たせる様準備しました。
- ② ねりま社会福祉法人等のネットの事業には継続して携わりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自体は見送られましたが、次回以降への準備期間として参画しました
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域開放の再開に向け、地域が求める福祉拠点としての役割を再認識し準備しました。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の保育園、小中学校からの職業体験の受入れや、職員派遣について調整しました。問合せの中で行事を全て中止している事から次回以降の受入れについて検討しました。
直接交流が持てない中、近隣保育園の園児や、地域の傾聴ボランティアグループより、利用者宛に作品や絵手紙を贈って頂いた事をきっかけに、利用者が作った作品やお手紙を贈る等の交流を継続しました。
- ⑤ 練馬区のガイドラインに基づき、災害時の要援護者の受入れについて、会議や研修を通じて体制の確認を行いました。
また、施設で行う合同の防災訓練では例年の様な規模ではなく、町会の代表者に参加して頂く形を取り、防災の意識を近隣住民の方と共有しました。災害時の対応や防災対策として、継続的な連携が図れるよう体制を整えました。

【表1】

特養稼働表

2021年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,500	1,500	100.0%
5月	1,550	1,548	99.9%
6月	1,500	1,470	98.0%
7月	1,550	1,502	96.9%
8月	1,550	1,525	98.4%
9月	1,500	1,466	97.7%
10月	1,550	1,500	96.8%
11月	1,500	1,455	97.0%
12月	1,550	1,497	96.6%
1月	1,550	1,522	98.2%
2月	1,400	1,387	99.1%
3月	1,550	1,534	99.0%
合計	18,250	17,906	平均 98.1%

(前年度平均 97.3%)

【表2】

在籍状況及び理由別入退所状況

2021年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所							
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計
4月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	50	1	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
8月	50	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
9月	49	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1
10月	50	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
11月	49	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	50	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
1月	49	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	50	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
3月	50	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
計	597	5	1	2	0	8	7	1	0	0	0	0	0	8

○2020年度の死亡退所者は7名、内6名は苑で看取りました。

【表3】

年齢・性別一覧

2021年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	1	1
70歳以上75歳未満	0	0	0
75歳以上80歳未満	0	1	1
80歳以上85歳未満	1	5	6
85歳以上90歳未満	4	13	17
90歳以上95歳未満	3	13	16
95歳以上100歳未満	0	6	6
100歳以上	0	3	3
計	8	42	50
平均年齢	88.5	90.5	90.2
	(87.3)	(90.4)	(89.8)

()内は前年度

○昨年比、男性の平均年齢が1.2歳上昇しました。

○最高齢 103歳・最年少 69歳

【表4】

要介護度構成

2021年3月31日現在

2020年3月31日現在		2021年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	1	要介護度 2	1
要介護度 3	4	要介護度 3	3
要介護度 4	28	要介護度 4	30
要介護度 5	17	要介護度 5	16
計	50	計	50
平均	4.22	平均	4.22

※平均要介護度に増減はありませんでした。

【表5】

在所期間

2021年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	2	6	8
1年以上2年未満	1	9	10
2年以上3年未満	2	7	9
3年以上4年未満	1	6	7
4年以上5年未満	0	0	0
5年以上6年未満	1	4	5
6年以上7年未満	1	0	1
7年以上8年未満	0	4	4
8年以上9年未満	0	1	1
9年以上10年未満	0	1	1
10年以上	0	4	4
計	8	42	50

○在所期間が最長の方は11年1か月入所されています。

【表6】

＜身辺自立状況＞
日常生活動作等の状況

2021年3月31日現在

入所者の 日常動作等 の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	20人 (21人)	23人 (23人)	一部:歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部:自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	15人 (12人)	7人 (8人)	一部:スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部:全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	31人 (31人)	17人 (17人)	一部:介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部:常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	38人 (37人)	12人 (11人)	一部:手を貸せば、着脱できる。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	8人 (7人)	42人 (43人)	一部:身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	39人 (42人)		自走:2人(3人)、一部介助:15人(24人)、全介助:22人(19人)
	認知症	47人 (47人)		認知症老人とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が 中度以上でその状況が、継続すると認められる者をいう。

※ ()内は前年度の数字

【表7】

＜事故・ヒヤリハット報告＞

計 442件 (339件)	287件 (220件)	・ヒヤリハット報告(見逃せば事故につながった可能性が強いもの)
	155件 (119件)	・事故報告(行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの)

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	3 (1)
転倒・転落・滑落	41 (25)
外傷	45 (53)
異食	2 (1)
誤嚥	2 (1)
誤薬	5 (1)
その他	60 (38)
計	158 (97)

※ ()内は前年度の数字

【表8】

<入所者ならびに職員の健康診断状況>

(ア) 入所者

2021年3月31日現在

		人 数	検 査 内 容
入所者の誕生日検診	実人数	54名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査（体調不良時など	延人数	8名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

(イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
8 月	49名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 腰痛健診（問診含む）・希望者は胃透視
3 月	19名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重・腰痛健診（問診含む）

(ウ) インフルエンザの予防注射

入所者	48名
職 員	48名

【表9】

<療養食>

2021年3月31日現在

食種	糖尿食	糖尿・減塩食	減塩食
人数	3	1	1

【表10】

<行事食>

・行事食実施回数 年23回

2021年3月31日現在

月	日	行事名	内容
4	5	お花見	桜ちらし、すまし汁、菜ばなの胡麻和え、苺パバロア
5	5	子供の日	オムライス、コンソメスープ、エビフライ、フルーツ おやつ：鯉のぼりゼリー
	10	母の日	ちらし寿司、すまし汁、竹の子とあさりの酢味噌和え、フルーツ
6	21	父の日	カツ丼、すまし汁、枝豆とえびの酢味噌和え、フルーツ
7	7	七夕	七夕そうめん、五目玉子焼き、冬瓜のくずあん、フルーツ おやつ：お星さまキラキラゼリー
	21	土用の丑の日	鯉ちらし、すまし汁、切昆布の煮物、フルーツ
	28	納涼祭	焼きそば、和風サラダ、チョコバナナ おやつ：たこ焼き
8	15	終戦記念日	十五穀ご飯、けんちん汁、精進揚げ、ほうれん草のお浸し、抹茶水羊羹小豆がけ
9	20	敬老会	栗おこわ、吸物、天ぷら、松風焼き、炊き合わせ、紅白なます、プリンアラモード おやつ：上用饅頭
	22	秋のお彼岸	おはぎ、豚汁、冬瓜のカニ風味あんかけ、酢味噌和え
10	1	十五夜	お月見そば、海老しんじょう、抹茶あんみつ おやつ：ねりきり（うさぎの月）
11	3	文化の日	吹き寄せ御飯、吸物、さんまの塩焼き、柿なます、マロンパバロア おやつ：紅葉饅頭
12	21	冬至	ご飯、粕汁、鱈の山椒焼き、かぼちゃのいとか煮、かぶの柚子和え
	24	クリスマス	チキンライス、コンソメスープ、ミートローフ、シーフードサラダ おやつ：サンタ饅頭
	31	大晦日	年越し蕎麦、筑前煮、フルーツ
1	1	正月祝膳	五目ちらし寿司、吸物、ぶりの照り焼き、紅白なます、伊達巻、昆布巻き、かまぼこ、デザート おやつ：ねりきり（祝い華）
	2	ミニ祝膳	赤飯、味噌汁、赤魚の塩焼き、里芋のそぼろあん、フルーツ おやつ：いとこようかん
	7	七草	七草粥、いわし蒲焼、白菜のごままぶし、梅干し
	11	鏡開き	三色もちもどき（小豆、ゴマ、きなこ）、豚汁、あさりとわけぎのぬた、フルーツポンチ
2	2	節分	のり巻き、いなり寿司、粕汁、南瓜のいとか煮、大豆の五目煮 おやつ：ねりきり（赤鬼）
	14	バレンタインデー	菜飯、味噌汁、ハートのミートロッケ、いんげんと竹輪の炒め煮、チョコパバロア（いちごのせ）
3	3	ひな祭り	ひなちらし、吸い物、ふきの炒り煮、菜の花の酢味噌和え、白桃羹 おやつ：おびな・めびなまんじゅう
	20	春のお彼岸	三色おはぎ、けんちん汁、ふきの煮物、いちごミルク

その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（月2回）

【表11】

＜家族との連携状況＞

(1) 月別の面会状況

2020年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	8	39	37	32	26	39	29	40	20	5	6

※看取りの方以外は、オンラインでの面会を実施しました

計 281人 月平均 23人

(2) 外泊の状況について

○ 外泊者は0名でした。

(3) 家族との連絡

○ 定期的連絡 年12回(毎月の利用者の様子、行事等のお知らせを送付)

○ 介護保険に関する連絡 随時

○ 利用者の健康状態などについての連絡 随時

○ ケアプラン、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 随時

【表12】

＜実習生の受け入れ状況＞

2021年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
上智大学	社会福祉士取得	1人	26日	特養・包括
上智社会福祉専門学校	介護福祉士取得	2人	24日	特養
日本福祉教育専門学校	社会福祉士取得	1人	26日	特養・包括
東京福祉保育専門学校	介護福祉士取得	1人	23日	特養
計		4人	73日	

＜地域との連携(社会資源)及び、ボランティア活動＞

2021年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
縫い物グループ	介護用品小物作成・利用者衣類修理	6人	無
東京福祉会	葬祭等相談・供養会・イベント紹介	0人	無
書道教室	書道指導	0人	無
配膳ボランティア	ホーム喫茶	0人	無
ドッグセラピー	ドッグセラピー(犬4頭)	0人	無
音楽療法	音楽療法	0人	有
ハンドケアボランティア	ハンドマッサージ・傾聴	0人	無
傾聴ボランティア	傾聴	0人	無
傾聴レクボランティア	傾聴・レク	0人	無
介護サポーター	介護補助	0人	無
行事ボランティア	行事アトラクション	0人	無

【表13】

＜クラブ(サークル)参加状況＞

2021年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
書道	10名	職員	無	随時
グループ体操・口腔体操	56名	職員	無	毎日
手工芸	25人	職員	無	随時

【表14】

2020年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内容
4	～20日		花見	敷地内の桜でお花見、屋上での外気浴を実施しました。
5	1～5	金～火	端午の節句	五月人形と、こいのぼりを飾り、同時に写真撮影を行いました。菖蒲湯を行い、菖蒲の香りを感じて頂きながら入浴を行いました(2～5)。
	9	土	母の日	2階、3階各フロアにて練り切りと煎茶をふるまい、お茶会を開催しました。テーブルにカーネーションを飾り、写真撮影を行い、母の日をお祝いしました。
6	21	日	父の日	男性には黄色いバラ(折り紙)を身に付けて頂きました。風船を使ったパレーを楽しみ、父の日を記念して黄色いバラの饅頭を利用者皆様に召し上がって頂きました。
7	5	日	七夕	事前に短冊・七夕飾りを利用者様と職員で一緒に作成しました。当日は、1階にて笹を間近に眺めながら、短冊を紹介したり、クイズを出したり、「たなばたさま」を歌いました。
7	27～29	月～水	夏祭り	開催期間中、リビングと廊下にお祭りの装飾を行い、「夏のお祭り」の雰囲気を感じて頂きました。催しの開催日はお祭りのゲームや「けん玉」「お手玉」等を楽しんで頂きました。同時に「花火大会」の上映を行いました。
9	20	日	敬老祝賀会	長寿者の健康長寿を利用者様と祝い、式典・祝膳を楽しんで頂きました。
10	1～31		外気浴	敷地内の裏庭や屋上を利用し、外気浴を行い、季節を感じて頂きました。
11	1～14		利用者作品展示会	「手形アート作品・もみじ」をメインに個人作品、絵手紙・貼り絵を作成し展示しました。
12	17～19	木～土	冬至(ゆず湯)	湯船に柚子を浮かべ、柚子の入浴剤も使用することで、色や香りで柚子湯を楽しんで頂きました。
12	24	木	クリスマス会	職員による歌の披露、利用者様によるツリーバトンリレーを行いました。サンタクロースとの記念撮影やクリスマス用のお饅頭を用意しその雰囲気を楽しみました。
1	1	火	新年祝賀会	厨房職員手作りのおせち料理を頂き、新年のお祝いをしました。
1	9～10	土～日	新年会	年初めの行事として釣りみくじを行い、引いたくじを絵馬に張り付け展示しました。鳥居を製作し新年の喜びを感じて頂きました。
2	2	火	節分豆まき	鬼に扮した職員が練り歩き、招福と健康祈願を行いました。
3	3	水	ひな祭り	雛人形を飾り、ちらし寿司やひな饅頭を召し上がり、桃の節句を祝いました。

通 年	金管楽器音楽会		感染症予防対策のため未実施
	誕生日会	各誕生日	各利用者の誕生日当日に誕生日カードをお渡しし、みんなでお祝いしました。
	ドックセラピー		感染症予防対策のため未実施
	被服販売会		感染症予防対策のため未実施

【表15】

ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規 利用者数
	枠	利用日数	利用率(%)	利用可能 日数	利用数	利用率	
4月	180	169	93.9	0	0	0.0	1
5月	186	192	103.2	2	0	0.0	2
6月	180	189	105.0	30	7	23.3	3
7月	186	196	105.4	48	25	52.1	1
8月	186	202	108.6	25	14	56.0	2
9月	180	190	105.6	34	29	85.3	2
10月	186	194	104.3	50	22	44.0	0
11月	180	191	106.1	45	32	71.1	0
12月	186	202	108.6	53	40	75.5	1
1月	186	194	104.3	28	18	64.3	0
2月	168	180	107.1	13	11	84.6	0
3月	186	185	99.5	16	4	25.0	2
合計	2,190	2,284	平均 104.3	344	202	平均 58.7	14名
	(前年度平均 103.4%)			(前年度平均 49.8%)			

【表16】

ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	36	24	67	19	23	169
5月	0	0	36	7	62	64	23	192
6月	0	0	37	9	65	66	19	196
7月	0	0	37	11	92	57	26	223
8月	0	0	48	10	85	52	20	215
9月	0	0	51	15	75	71	6	218
10月	0	0	43	23	74	66	10	216
11月	0	0	53	17	57	90	7	224
12月	0	0	52	7	77	99	7	242
1月	0	0	48	4	63	91	7	213
2月	0	0	48	10	59	67	7	191
3月	0	0	46	11	73	50	9	189
合計	0	0	535	148	849	792	164	2488
%	0%	0%	21.5%	5.9%	34.2%	31.8%	6.6%	100%

2020年度

第2 育秀苑訪問介護事業 事業報告

2020年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① ホームヘルプサービス事業総会は、感染対策により開催出来ませんでしたが、法人理念、基本精神を訪問介護員に再確認してもらい、安心・安全で快適な暮らしの提供に努めました。
- ② 合同サービス提供責任者会議において、情報共有等を行い施設間の標準化を図りました。
- ③ 第2 育秀苑のミッション『声は心～聴く、伝える、届ける～』を遂行するため、訪問介護では「利用者様の『心の声』に耳を傾け、安心できるサービスをお届けできるよう最善を尽くします」と定め取り組みました。利用者の話を傾聴し心のこもったサービスを行うことで、利用者、家族、各関係機関と信頼関係を深められるよう努めました。
- ④ ホームヘルプサービス事業を身近に感じていただけるよう、事業の取り組み、日常の様子等を育秀会だよりやスタッフブログ、インスタグラムで情報を発信しました。
- ⑤ 地域包括支援センターと連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも地域住民の方が安心して在宅での生活が送れるよう、地域のネットワークを構築できるよう努めました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① サービス提供責任者は利用者のニーズに応え、より適切な訪問介護サービスの提供ができるよう、多職種と密接な連携をとり常に情報交換や連絡調整に努めました。訪問介護員の不足、高齢化の状態は変わらないため、無理なく安心して仕事を継続していただけるよう、訪問介護員の話にしっかり耳を傾け不安の解消を図り、適正なサービスの実施と、より良いサービスの提供が行えるよう取り組みました。
- ② 質の高いサービスを目的とした「実践的な研修の充実」
サービス提供責任者はオンライン研修等に参加し知識の習得と介護技術の向上に努めました。訪問介護員に対してもオンライン研修を通じてサービス向上に繋げる事が出来ました。また、必要に応じて臨時会議を開催し困難事例等の検討を行い、信頼を得られる事業所になるよう努めました。
- ③ 訪問介護員には練馬区の資格取得受講料助成制度などの情報を提供し、資格取得に繋がる支援を行いました。
- ④ 訪問介護員もオンライン研修に参加したり、資料を配布する等し知識や技術の習得に努めました。また、利用者・家族の意見・要望については誠意をもって迅速かつ適切に対応するとともに、改めてサービス提供内容の見直しを行いました。
またお客様アンケートを実施し、80%以上の方に「満足している」との回答を得ました。

その他ご意見等をふまえ利用者のニーズやご意見に応えるようサービスの改善を図りました。

③ 経営基盤の安定

- ① 居宅介護支援事業所と密に連携を図ること、感染症対策を実施していることで、これまで通りの信頼関係を築き新規利用者の紹介をいただくことが出来ました。
- ② 利用者登録者数 150 件を目標とし、信頼を得られる内容のサービスを提供することに努め、令和 2 年 3 月現在の登録者数は 144 件（派遣数 142 件）となっています。新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えもある中、感染症対策を実施したことや、訪問介護員、サービス提供責任者の感染リスクへ対する意識的な取り組みにより、継続的なサービス利用に繋がりました。
また、「日常生活支援総合事業」については、一人ひとりに合った時間設定、サービス内容を提案し自立支援に向けたサービスの提供を行いました。
- ③ 法人の作成した BCP に従い、施設内の防災訓練に参加しました。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の対策として、サービス提供責任者、訪問介護員共に施設内で行う感染症の研修(オンライン研修含)に参加しました。日々の感染症対策により、安心してサービスを受けて頂ける様、通年取り組みを継続しました。

④ 働きやすい職場作り

- ① 訪問介護員が家庭と仕事が両立できるよう、様々な働き方の検討・提案を行うことで、働きやすい職場環境づくりに努めました。
- ② 年 2 回訪問介護員の能力、勤務状況などに応じて個々の活動の評価を実施しました。評価による処遇改善を行うこと、また訪問介護員との面談を実施し一人一人の仕事への意欲の向上を図りました。
- ③ 就職相談会や面接会等に参加し、訪問介護員の新規採用に努めました。

⑤ 地域貢献への取り組み

- ① 地域の事業所と連携を図り、多様なニーズに応えられるようサービスの提供を実施しました。今後も「日常生活支援総合事業」を含め、地域の方に訪問介護への理解を深めて頂き、住み慣れた地域や自宅での生活が安心して継続できるようサービス提供していきます。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は実習生の受け入れは行わず、次年度以降の準備期間としました。
- ③ 施設が実施する大規模災害に備えた災害時の想定訓練に参加しました。

【表1】

登録者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣数	134	125	140	140	142	144	141	142	137	140	134	142	1,661 (1,637)	138 (138)
新規契約	2	3	4	3	4	3	1	1	1	2	3	3	30 (58)	3 (5)
入院	3	5	1	2	7	3	3	4	4	7	5	6	50 (31)	4 (3)
廃止	7	4	3	3	2	1	2	0	5	0	2	3	32 (58)	3 (5)
派遣時間	1,089.9	1,135.0	1,317.0	1,332.1	1,217.4	1,262.1	1,287.6	1,216.4	1,270.4	1,167.3	1,120.6	1,248.6	14,664.4 (13,863)	1,222 (1,155)

()内は昨年度

【表2】

サービス種別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	昨年度
生活援助	33.6%	32.2%	30.4%	31.5%	31.2%	31.6%	31.6%	31.4%	30.1%	29.4%	28.2%	26.9%	30.7%	32.8%
身体介護	31.1%	30.6%	34.1%	31.7%	33.9%	33.1%	32.6%	31.8%	31.1%	33.3%	31.1%	33.8%	32.4%	31.3%
身体生活	16.2%	20.8%	19.0%	19.7%	17.3%	17.8%	18.8%	20.4%	22.0%	21.9%	24.2%	23.2%	20.1%	16.1%
総合事業	19.1%	16.4%	16.5%	17.1%	17.7%	17.5%	16.9%	16.4%	16.9%	15.4%	16.5%	16.1%	16.9%	19.9%

【表3】

介護度分布

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
事業対象者	9	7	8	8	7	7	6	6	6	7	7	7	85	124
要支援1	18	16	17	16	15	16	15	15	15	13	13	13	182	177
要支援2	20	19	20	21	24	24	24	23	21	22	19	20	257	265
要介護1	28	26	26	26	28	27	27	28	26	27	24	25	318	329
要介護2	36	38	42	40	39	41	41	42	41	42	43	46	491	404
要介護3	9	9	14	15	16	17	17	18	18	19	18	19	189	191
要介護4	7	4	7	7	6	5	4	4	3	4	4	4	59	59
要介護5	7	6	6	7	7	7	7	6	7	6	6	8	80	88
自費サービス	13	12	12	11	13	15	15	16	13	14	11	19	164	247
合計	147	137	152	151	155	159	156	158	150	154	145	161	1,825	1,884

2020年度

事業報告

第3育秀苑

2020年度

第3育秀苑事業報告

新型コロナウイルス感染症による未曾有の感染症拡大の中、感染症予防に取り組んでおりましたが、2021年1月18日に特養3階利用者の感染が判明し、発生フロアのゾーニング、隔離を行うこととなりました。利用者56名・職員58名のPCR検査を行い、陽性者は、特養利用者6名（3階3名、2階3名）・ショートステイ利用者2名（3階1名、4階1名）・特養3階職員3名となり、2月15日に終息宣言を出しました。安心するのにも束の間、長期入院されていた特養3階利用者が、2月17日に退院された直後に、入院されていた病院で新型コロナウイルス感染症発生の連絡を受け、PCR検査を実施、結果2月19日に陽性が判明しました。結果的に、3階フロアは約1か月半、2階フロアは2週間のゾーニングを行うこととなり、新規入所者・ショートステイの受け入れ中止、入院者の増加により稼働率に多大な影響を及ぼしました。

認知症対応型デイサービス、訪問介護事業所においては、新型コロナウイルス感染症による利用控えがある中、当施設で発生したことによるキャンセルもありました。

第3育秀苑はミッションを「together ～共に笑い 共に寄り添い 共に歩む～」とし、個人の取り組み目標を立て、利用者、家族に寄り添ったケアの実施に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で思うような活動が出来ず、2021年度も同じミッションに取り組むこととしました。

練馬区委託事業筋力向上トレーニング事業は新型コロナウイルス感染症の影響で休止とさせていただきます。

1. 職員の配置

2021年3月31日現在、常勤職員51名、非常勤職員51名、計102名体制で職員を配置しました。【表1-①】

2. 職員の採用

2020年度の採用、退職は【表1-②】の通りです。

- 1) 正規職員は新規採用者5名、他部署からの異動6名、他部署への異動2名、退職者6名でした。
- 2) 非正規職員は新規採用9名、退職者6名でした。
- 3) 非常勤職員から正規職員への登用を2名行いました。

3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症予防のため、年度初めは中止・延期となりましたが、徐々

にオンライン、動画視聴での研修が中心となり参加できるようになりました。特に感染症対策研修は頻繁にあり、全職員が参加できるように研修情報の共有化に努めました。

【表 2】

4. 防災管理

- 1) 防災委員会を毎月 1 回開催し消火訓練、通報訓練、誘導訓練、総合訓練を繰り返し実施しました。【表 3】
- 2) BCP 計画は実際に対応することになる、特養職員にも合同 BCP 会議に参加してもらい内容について協議しました。

5. 施設整備

- 1) 職員の腰痛予防、利用者の事故防止、感染症対策等のため、移乗用リフトを 2 種類導入しました。
- 2) デイサービス、事務所前にオゾン発生器の増台をしました。
- 3) 感染症予防対策用パーテーションを設置しました。
- 4) WEB やオンラインの研修や会議に対応するため、iPad を増台しました。
- 5) 見守りセンサーのデモ機を導入し次世代介護機器の検討を行いました。ターミナルケア利用者の巡回業務等において、職員の心理的負担の軽減などの効果が見られました。

【表1-①】

2020年度 職員配置及び移動状況

(1) 配置状況

特養 定員60名 ショート 定員6名

2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
施 設 長	1	1		
医 師	1		2	
事 務 員		2(兼務2)	1	
介護支援専門員	1	1(兼務1)		
生 活 相 談 員	1	2(兼務2)		
介 護 職 員	19	24(介護福祉士18)	7(介護福祉士3)	常勤換算29.2人
看 護 職 員	3	4(兼務4)	2(兼務2)	常勤換算4.4人
管 理 栄 養 士	1	1		
調理職員				委託
機能訓練指導員	1	1		
清掃員			6(兼務1)	
宿 直 員				管理夜勤
計	29	36(兼務9)	18(兼務3)	

デイサービスセンター(認知) 定員 24名

2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
管 理 者	1	1(兼務1)		
事 務 員		1(兼務1)		
生 活 相 談 員	1.2	2(兼務2)		
介 護 職 員	4(看護職員含む)	2(兼務2)	7(兼務2)	常勤換算5.3人
看 護 職 員		4(兼務4)	2(兼務2)	常勤換算1人
機能訓練指導員	1		1	
運 転 手			5(兼務2)	
計	7.2	10(兼務10)	14(兼務6)	

訪問介護事業所

2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
管 理 者	1	1(兼務1)		
サービス提供責任者	2	3(兼務3)		
ホームヘルパー		3(兼務3)	19(兼務1)	
計	3	7(兼務7)	19(兼務1)	

居宅介護支援事業所

2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
管 理 者	1	1(兼務1)		
介護支援専門員	2	3(兼務1)		
計	3	4(兼務2)		

地域包括支援センター

2021年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
社会福祉士	1	1		
主任介護支援専門員	1	1		
保健師(看護師)	1	1		
訪問支援員	2	2		
プランナー	2	1		
事務員	1		1	
計	7	6	1	

合 計	49.2	63(内兼務28)	52(兼務10)	
-----	------	-----------	----------	--

【表1-②】

(2)職員異動状況

2021年3月31日現在

常勤職員 採用									
年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2020.4.1	採用	介護職員	1						
4.1	採用	介護職員	1						非常勤⇒常勤
6.1	採用	看護職員	1						
10.1	採用	介護職員	1						
10.1	採用	相談員					1		非常勤⇒常勤

常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2020.4.1	異動	介護職員	1						第2育秀苑より
4.1	異動	ケアマネジャー				1			育秀苑より
4.1	異動	介護職員	1						第2育秀苑より
7.1	異動	介護職員	1				1		育秀苑より
9.22	異動	相談員					1		第2育秀苑へ
2021.1.31	異動	介護職員	1						育秀苑へ
2.1	異動	介護職員	1						育秀苑より
3.31	異動	介護職員	1						第2育秀苑より

常勤職員 退職

年月日	退職	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2020.7.1	退職	介護職員	1						
2021.2.17	退職	介護職員	1						
3.31	退職	福祉課長	1						
3.31	退職	介護職員	1						
3.31	退職	ケアマネジャー				1			
3.31	退職	訪問支援員					1		

非常勤職員 採用

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2020.6.1	採用	介護職員	1						
8.1	採用	介護職員	1						常勤⇒非常勤
9.23	採用	相談員					1		
10.1	採用	ホームヘルパー			1				
12.1	採用	運転手		1					
12.19	採用	運転手兼介護職		1					
12.21	採用	介護職員		1					
2021.1.12	採用	介護職員	1						
3.1	採用	ホームヘルパー			1				

非常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2020.6.30	退職	介護職員		1					
7.31	退職	介護職員	1						
12.15	退職	介護職員	1						
12.31	退職	プランナー					1		
2021.3.31	退職	介護職員		1					
3.31	退職	看護職員	1						

2020年度 職員研修 【表2-①】

(外研修参加一覧表)

部署	研修会名	部署	研修会名	
施設長	採用オンラインセミナー	居宅	今井塾！養護者による高齢者虐待防止と対応（在宅系サービス）	
	ホームページ、SNSを活用した情報発信を考える研修会 東社協オンラインセミナー「コロナ発生施設事例報告会」		一人の人と向き合うことから始める認知症ケア センター方式地域型基礎研修（1、2回目）	
	ハラスメント対策		ASLの患者の在宅ケアを通して、その人らしい生活を支えるとは何かを考える 試験後見人制度を身近なものにしよう！ 地域資源の活用 若年期に統合失調症を発症した高齢者の生活支援	
管理課 済	新型コロナに負けない介護施設経営			
	高齢者施設向け～防災・減災セミナー			
	次世代介護機器導入セミナー			
	今学びたい労務管理～同一労働同一賃金			
	雇用管理責任者講習			
特養	安全な食事を提供する！～食事介助の基礎知識～			
	仕事がかどるシリーズパート1：やってみたくなる倫理的思考術			
	介護・福祉職が知っておきたい医療知識～こんな症状があつたら～			
	高次脳機能障害を知ろう～障害特性と支援方法について			
	安全な食事を提供する！食事介助基礎研修			
	介護ロボット 東京フォーラム2020			
	福祉用具サービス事業者講習会			
	機能訓練指導員のための“相手を伸ばす関わり方”			
	介護報酬請求事務に関する研修会（応用編Ⅰ）			
	機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評価			
介護報酬請求事務に関する研修会（応用編Ⅱ）				
デイ サー ビス	営業力を基礎から学ぶ！営業力強化研修			

(施設内研修) 【表2-②】

研修名		研修名	
6月	事例から学ぶ介護リスクマネジメント	9月	AEDの使用方法和心肺蘇生
6月	看取り～本人中心のチームケア推進～	10月	感染症対策「新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス」
7月	実際の場面での感染症対策	11月	褥瘡予防の視点から栄養管理・トランス方法
7月	リスクマネジメント研修「脱水予防」	12月	新型コロナウイルス感染症予防・ガウンテクニック
8月	高齢者の権利擁護、虐待防止、身体拘束廃止	2月	高齢者の権利擁護、虐待防止、身体拘束廃止
8月	新型コロナ感染予防対策	3月	看取り～グリーフケアの必要性について～

2020年度 防災訓練実施状況 【表3】

実施月	訓練内容
4月	実施なし
5月	実施なし
6月	消火器及び散水栓の実放水訓練 参加者 16名
7月	法人合同無線機訓練 参加者 14名
8月	炊き出し図上訓練、BCP 図上訓練 参加者 10名
9月	避難訓練（特養） 参加者 9名
10月	避難訓練（昼間想定）図上訓練、非常電話の使用手法 参加者 11名
11月	避難訓練（昼間想定）確認 参加者 12名
12月	避難訓練（デイサービス） 参加者 11名
1月	福祉避難所開設図上訓練 職員全員に文書回覧
2月	避難訓練（夜間想定） 文書回覧者 8名
3月	BCP（事業継続計画）図上訓練 参加者 7名

2020年度

第3育秀苑 介護老人福祉施設

短期入所生活介護事業 事業報告

2020年度の重点課題

1 育秀苑ブランドの確立

第3育秀苑ミッション「together ～共に笑い 共に寄り添い 共に歩む～」に沿って、利用者・家族の意向を尊重し、安心・快適に生活することができるよう多職種と連携を図り、個別ケアを充実できるよう努めました。

2 サービス向上に対する取組

- ① 個別ケアの充実のため、利用者の体調変化等に多職種でミニカンファレンスを都度開き対応しました。iPad導入で業務の効率化、情報共有を図りました。
- ② 新型コロナウイルス感染症防止対策として、マニュアルの整備、環境整備、職員研修を行いました。面会・外出制限に加えて、交流会の中止、ボランティアの受け入れ制限などで行事の中止も多く、各フロアで感染予防に留意しながらレクリエーションを行いました。
- ③ コロナ禍の中、オンライン研修やWEBでの動画視聴などで、施設内研修、法人レベル別研修、外部研修を行いました。
- ④ 練馬区内の4法人でオンラインによる法人連携研修を行い、各法人の取り組みを発表し情報共有しました。
- ⑤ 今年度は、初任者研修修了者1名、介護福祉士2名が資格取得しました。
- ⑥ 利用者満足度調査を行い、満足・やや満足とのご意見を8割以上いただきました。今年度は面会、差し入れの満足度についての調査も行いました。ガラス越しの面会を行っておりましたが、リモート面会の希望などもあり、今後、感染症対策や職員連携を進め検討していきます。

3 経営基盤の安定

(特養)

- ・年間稼働率は91.6%（前年度95.3%）で、前年度比マイナス3.7%と低下しました。要因として、退所者27名（前年度16名）と大幅に増加したこと、入院者の長期化、特養フロアでの新型コロナウイルス感染症発生があげられます。
- ・ユニット型個室の空床利用が課題となっておりましたが、相談員、フロア職員と協力・連携し、空床利用率をアップすることができました。結果、特養・ショートステイの総ベッド稼働率は93.4%（前年度94.3%）でした。

(ショートステイ)

- ・ショートベッド平均利用率 84.9%、特養空きベッド平均利用率 30.8%、合計平均利用率 110.6%で、前年度比プラス 28.7%でした。
 - ・フロア職員に特養の空床利用を積極的に行うことへの意識づけを行い、協力を得ることができました。その結果、前年度平均 5.1%だった空床利用率を平均 30.8%とすることができました。ショートステイフロア以外での受け入れも多数行うことができ、年間の新規利用者数は 42 名、緊急ショートステイ受け入れ 16 件となりました。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症のため、家族懇談会を開催することが出来ず、令和 3 年度介護報酬改定についても書面、個別対応といたしました。

④ 働きやすい職場作り

- ① 職員の腰痛予防、利用者の事故防止のため、移乗用リフトを 2 種類導入しました。
- ② 練馬区特別養護老人ホーム施設長会主催の採用イベントに現場職員が実行委員として参加し、他施設と協働してイベント開催を行いました。
- ③ 福祉の仕事合同就職相談会に参加し 1 名採用となりました。
- ④ ハラスメントチェック表を配布・集計し、ハラスメントのない職場づくりに努めました。

⑤ 地域貢献への取り組み

- ① 土支田保育園、土支田児童館、八坂中学校と、施設内での交流会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。
- ② 土支田保育園とは、園児が散歩途中に施設に寄って玄関前で歌を歌ってくれ、利用者は 2 階ベランダから聴くなど、感染症予防に配慮した交流を行いました。また、保育園から園児の歌を録音した CD、励ましのお便りをいただき、利用者に楽しんでいただきました。
- ③ 練馬区社会福祉協議会光が丘ボランティア・地域福祉推進コーナーからの紹介で、手編みの会の方々から手編みのマフラー、帽子をいただきました。

【表1】

特養稼働表

2021年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,800	1,631	90.6%
5月	1,860	1,687	90.7%
6月	1,800	1,660	92.2%
7月	1,860	1,744	93.8%
8月	1,860	1,749	94.0%
9月	1,800	1,755	97.5%
10月	1,860	1,776	95.5%
11月	1,800	1,759	97.7%
12月	1,860	1,761	94.7%
1月	1,860	1,646	88.5%
2月	1,680	1,338	79.6%
3月	1,860	1,562	84.0%
合計	21,900	20,068	平均 91.6%

(前年度平均95.3%)

【表2】

在籍状況及び理由別入退所状況

2021年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所								
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計	
4月	59	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1
5月	59	1	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2
6月	60	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1
7月	59	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0	1	4
8月	60	2	0	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	1	3
9月	60	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10月	60	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
11月	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	60	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2
1月	60	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	3
2月	60	1	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	4
3月	59	0	0	3	1	4	2	0	0	0	0	0	0	3	5
計	716	7	0	7	9	23	17	2	0	0	0	0	0	8	27

○2020年度の退所者は27名、内10名を苑で看取りました。

【表3】

年齢・性別一覧

2021年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	1	0	1
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	0	0	0
75歳以上80歳未満	0	5	5
80歳以上85歳未満	2	5	7
85歳以上90歳未満	2	15	17
90歳以上95歳未満	2	17	19
95歳以上100歳未満	0	4	4
100歳以上	0	1	1
計	7	47	54
平均年齢	83.4	88.5	87.8
	(83.4)	(91.5)	(90.5)

○昨年度より女性の平均年齢が下がっています。

()内は前年度

○最高齢 102歳・最年少 63歳

【表4】

要介護度構成

2021年3月31日現在

令和2年3月31日現在		令和3年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	2	要介護度 2	0
要介護度 3	7	要介護度 3	11
要介護度 4	32	要介護度 4	30
要介護度 5	17	要介護度 5	13
計	58	計	54
平均	4.03	平均	4.10

【表5】

在所期間

2021年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	2	13	15
1年以上2年未満	2	7	9
2年以上3年未満	1	10	11
3年以上4年未満	1	6	7
4年以上5年未満	0	4	4
5年以上6年未満	1	2	3
6年以上7年未満	0	2	2
7年以上8年未満	0	3	3
8年以上9年未満	0	0	0
9年以上10年未満	0	0	0
10年以上	0	0	0
計	7	47	54

○平均在所期間は、2年7か月です。

【表6】

<身辺自立状況>
日常生活動作等の状況

2021年3月31日現在

入所者の日常生活動作等の状況	一部介助	全介助	備 考
	移動介助 19人 (31人)	29人 (23人)	一部:歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部:自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助 10人 (48人)	11人 (9人)	一部:スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部:全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助 31人 (49人)	14人 (9人)	一部:介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部:常時オムツを使用している。
	着脱衣介助 25人 (43人)	22人 (15人)	一部:手を貸せば、着脱できる。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助 14人 (16人)	38人 (42人)	一部:身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	35 (48人)	自走:12人(18人)、一部介助:2人(2人)、全介助:21人(28人)
	認知症	42人 (49人)	認知症老人とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が中度以上でその状況が、継続すると認められる者をいう。

※ ()内は前年度の数字

【表7】

<事故・ヒヤリハット報告>

計 505件 (395件)	311件 (336件)	・ヒヤリハット報告(見逃せば事故につながった可能性が強いもの)
	194件 (151件)	・事故報告(行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの)

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	4 (4)
転倒・転落・滑落	34 (46)
外傷	105 (10)
異食	1 (2)
誤嚥	0 (3)
誤薬	10 (7)
その他	40 (24)
計	194 (93)

※ ()内は前年度の数字

【表8】

<入所者ならびに職員の健康診断状況>

(ア) 入所者

2021年3月31日現在

		人 数	検 査 内 容
入所者の誕生日検診	実人数	42名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査（体調不良時など	延人数	52名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

(イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
8 月	64名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 希望者は胃透視
8 月	41名	介護者	腰痛健診（問診含む）
2 月	41名	介護者	腰痛健診（問診含む）
2 月	23名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重

(ウ) インフルエンザの予防注射

入所者	56名
職 員	71名

【表9】

<療養食>

2021年3月31日現在

食種	減塩6g食
人数	0

【表10】

<行事食>

・行事食実施回数 年30回

2021年3月31日現在

月	日	行事名	内容
4	8	花祭り	三色おにぎり、さわらの木の芽焼き、炊き合わせ、ヨーグルト
5	5	端午の節句	いなり寿司、筑前煮、そら豆の白和え、抹茶ババロア小豆ソースかけ
	10	母の日	たけのこ御飯、松風焼、山菜の煮浸し、ミルクゼリー（花飾り）
6	14	父の日	鮭ちらし寿司、茶碗蒸し、ほうれん草のお浸し、すまし汁
7	7	七夕	七夕そうめん、冬瓜のくず煮、七夕ゼリー
	21	土用の丑の日	うな玉丼、すまし汁、もずく酢
	30	納涼祭	焼きそば、じゃがバター、すいか、ジョア、やわらかたこ焼き
8	13	お盆	みょうがご飯、天ぷら盛り合わせ、モロヘイヤのポン酢和え、小豆ゼリー
9	9	敬老会	赤飯（粟）、すまし汁、天ぷら、銀だら西京焼き、松風焼、炊合せ、紅白なます、水菓子
		重陽の節句	ご飯、厚揚げと豚肉の味噌炒め、黒豆煮豆、ほうれん草の菊花和え、乳酸菌飲料
	21	敬老の日	ちらし寿司、すまし汁、炊合せ、抹茶ババロア
	20	秋の彼岸	おはぎ（3種）、すまし汁、ちぐさ焼、きゅうりの塩昆布和え、梨
10	1	十五夜	月見うどん、里芋のきのこあん、杏仁ゼリー
	12	体育の日	さつま芋ご飯、さんまの塩焼き、炊き合わせ、抹茶ババロア
	31	ハロウィン	サンドイッチ、かぼちゃのくりむシチュー、ブロッコリーのサラダ、赤ぶどうゼリー
11	5	運動会	いなり寿司（1種）、おにぎり（2種）、鶏のから揚げ、厚焼き卵、ポイルウイナー、香の物、ポテトサラダ、ヨーグルト
	25	握り寿司	握り寿司（まぐろ・サーモン・はまち）・ねぎとろ軍艦・いくら軍艦・玉子、すまし汁、ほうれん草の煮浸し、みかん
12	21	冬至	ご飯、鶏肉のバター醤油焼き、かぼちゃのいとし煮、胡瓜のゆかり和え、ジョア
	24	クリスマス	ロールパン&クロワッサン、デミグラスハンバーグ、花野菜サラダ、コーンスープ
	25		チキンライス、スパニッシュオムレツ、レタスのサラダ、いちごムース
	31	大晦日	年越しそば（かき揚げ）、ブロッコリーのサラダ、ジョア
1	1	正月祝膳	赤飯、すまし汁、えびの旨煮、スモークサーモン、鶏肉の野菜巻、紅白かまぼこ伊達巻、さつまいもきんとん、紅白なます、炊合せ、黒豆、苺ロールケーキ
			ゆかりごはん、松風焼、茶碗蒸し、雑煮、みかん
	2	正月	初春ちらし、すまし汁、がんと野菜の煮物、りんごのコンポート
	3		五目ご飯、ぶりの照り焼き、かぶの柚子和え、豚汁
	7	七草	七草粥、厚焼き卵、カリフラワーのおかか和え、梅干し、味噌汁
2	2	節分	恵方巻き、いわしのつみれ汁、ふろふき大根、昆布豆、みかん
	14	バレンタイン	ハート型ハンバーグ、さつま芋の甘煮、レタスのサラダ、チョコババロア
3	3	ひな祭り	ちらし寿司、菜の花の和え物、すまし汁、苺ムース
	17	春のお彼岸	牡丹餅（3種）、筑前煮、菜の花の辛子和え、すまし汁

その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（週1回）

【表11】

<家族との連携状況>

(1) 月別の面会状況

2020年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	30	64	95	134	67	108	89	93	7	21	5	6

計 719人 月平均 59.9人

(2) 外泊の状況について

○ 外泊者はいませんでした。

(3) 家族との連絡

○ 家族懇談会 ⇒ 中止

○ 定期的に連絡 ⇒ 月1回(請求書送付時に利用者の状況報告・趣味活動等の予定表を送付)

○ 介護保険に関する連絡 ⇒ 書面、個別対応

○ 利用者の健康状態などについての連絡 ⇒ 随時

○ ケアプラン、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書の承認 ⇒ 随時

【表12】

<実習生の受け入れ状況>

2021年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
東京福祉保育専門学校	介護援助能力を高める	1人	15日	
城北能力開発センター	介護援助能力を高める	4人	12日	
計		5人	27日	

<地域との連携(社会資源)及び、ボランティア活動>

2021年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
書道ボランティア	書道教室の手伝い	0人	無
ピアノボランティア	ピアノ伴奏	0人	無
土支田保育園	訪問交流	27人	無
八坂中学校	吹奏楽	0人	無
介護サポーター	趣味活動の手伝い・洗濯物整理等	0人	無
個人ボランティア	車椅子清掃・ユニットの清掃等	0人	無
東京福祉会	葬祭等相談・供養会	0人	無

【表13】

<クラブ(サークル)参加状況>

2021年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
書道	4人/回	職員	有	3ヵ月に1回
フラワー	中止	ボランティア	有	中止
ピアノ	中止	ボランティア	有	中止
体操	月50人	理学療法士	有	週1回
いきいき美容室	中止	資生堂美容部員	有	中止

【表14】

2020年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内容
4	各フロア毎		お花見	リビングを春らしく飾り付けたり、施設周辺で外気浴を行い、季節感を感じて頂きました。
5	各フロア毎		母の日	リビングや玄関にカーネーションを飾り、母の日をお祝いしました。
	23	土	園芸	利用者と一緒にプランターに花を植えました。
6	各フロア毎		父の日	各フロアでカップケーキにトッピングをしたり、紫陽花ゼリーを作る等調理レクリエーションを行いました。
7~8	各フロア毎		夕涼み会 (スイカ割)	スイカ割りに見立てたゲームを行い、スイカを食べて頂きました。
8	31	月	花火鑑賞会	プロジェクターで花火大会の映像を流し、アイスを食べ楽しんで頂きました。
9	9	水	敬老祝賀会	フラワーアレンジメントとお花の練り切りをご用意し、米寿・卒寿・白寿のお祝いをしました。
	25	金	土支田保育園 交流会	駐車場とベランダ越しで、歌のプレゼントをして頂きました。
10	13	火	秋祭り	紙芝居と綿菓子を楽しんで頂きました。
	25	日	ハロウィン	かぼちゃプリンを一緒に作りました。
11	24	火	音楽会	音楽鑑賞会を行いました。
12	各フロア毎		クリスマス	ハンドベル演奏やクリスマスプレゼント、ケーキをご用意し楽しんで頂きました。
	28	月	忘年会	紙芝居やおでんを提供し、みんなで一年を振り返りました。
1	各フロア毎		鏡開き	やわらかもちでおしるこを作り、無病息災を願いました。
2	各フロア毎		節分行事	各フロアで、鬼に扮した職員に豆をまき、皆で無病息災を願いました。
3	各フロア毎		桃の節句	リビングを飾り付け、季節感を感じて頂きました。

通 年	誕生会 誕生日外出	誕生日	各フロアで他の利用者とお祝いをしました。
	保育園との 交流会	9/25	歌やお手紙、手作りツリーセットのプレゼントを交換し、コロナ禍でも交流を継続しました。
	児童館との 交流会	中止	
	家族交流会	中止	

【表15】

ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規利用者数
	枠	利用日数	利用率(%)	利用可能日数	利用数	利用率(%)	
4月	180	118	65.6	169	4	2.4	1
5月	186	141	75.8	173	18	10.4	0
6月	180	122	67.8	140	22	15.7	4
7月	186	155	83.3	116	15	12.9	5
8月	186	194	104.3	111	39	35.1	9
9月	180	163	90.6	45	36	80.0	3
10月	186	183	98.4	84	77	91.7	3
11月	180	173	96.1	41	30	73.2	2
12月	186	177	95.2	99	42	42.4	4
1月	186	170	91.4	214	102	47.7	3
2月	168	95	56.5	342	104	30.4	2
3月	186	168	90.3	298	75	25.2	6
合計	2,190	1859	平均 84.9	1832	564	平均 30.8	42名
	(前年度平均 81.9%)			(前年度平均 5.1%)			

【表16】

ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	15	41	29	6	34	125
5月	0	0	14	47	50	22	28	161
6月	0	0	9	60	20	36	19	144
7月	0	0	2	68	24	46	30	170
8月	0	0	0	109	66	21	37	233
9月	0	0	9	75	38	51	27	200
10月	0	0	25	109	49	34	25	242
11月	0	0	0	92	31	48	32	203
12月	0	0	7	84	42	29	57	219
1月	0	0	15	99	58	66	34	272
2月	0	0	0	87	32	58	22	199
3月	3	0	20	98	50	40	34	242
合計	3	0	116	969	489	457	379	2410
%	0.1%	0.0%	4.8%	40.2%	20.3%	19.0%	15.7%	100%

2020年度

第3育秀苑認知症対応型通所介護事業 事業報告

2020年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 法人理念・基本精神を毎朝のミーティングで唱和、ミッションの確認を行い、利用者寄り添い一人ひとりの人権を尊重した利用者本位の介護を行うよう努めました。
- ② 「第3育秀苑デイサービスセンターだより マンスリーレインボー」を作成し、家族、居宅介護支援事業所、地域住民に事業所の活動を発信しました。

2 サービス向上に対する取組

- ① 新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、利用者・家族が安心して通所できるように努めました。家族の介護負担軽減が図れるようサービスを提供しました。
- ② 2020年5月ゴールデンウィークに3日間休業、2021年1月特養フロアでの新型コロナウイルス感染症発生に伴う館内消毒のため1日休業しました。それ以外は営業を続け、認知症高齢者を抱える家族からたくさんの感謝の言葉を頂き、改めて地域における事業所の重要性を認識いたしました。
- ③ WEBや苑内研修で新型コロナウイルス感染症に対する知識を深め、ケアの向上に努めました。
- ④ 資格取得の情報提供やアドバイスを行い、1名の介護福祉士の資格取得に繋がりました。
- ⑤ 利用者満足度調査の結果は、30名送付19名回収、回収率63%でした。おおむね満足されているという回答が多く寄せられました。

3 経営基盤の安定

- ① 1日の平均登録者18名、平均実利用者16名（月平均416名）を目指しましたが、結果は、1日の平均登録者14名、平均実利用者11名（月平均282名）に留まりました。原因として、新型コロナウイルス感染症による営業活動の難しさ、新規検討者の見学中止、コロナ禍による利用控え、ショートステイの利用延長、利用者の機能低下、主介護者の入院・死亡等によることがあげられます。
- ② 介護福祉士資格取得により職員における介護福祉士の割合が50%を超え、来年度からは上位のサービス提供体制加算、介護職員特定処遇改善加算を取得することが出来ることとなりました。
- ③ 2020年12月に利用者と一緒に避難訓練を行いました。緊急時利用者名簿を作成し、災害発生時に迅速に行動出来るよう整えました。
- ④ 送迎時利用者とともに家族の体調確認を毎回行い健康管理に努めました。施設内での感染予防対策として、利用者へのマスク着用のお願い、パーテーション設置、レクリエーションの工夫を行いました。

- ⑤ 2021年3月末、非常勤職員（ドライバー）の新型コロナウイルス感染症の陽性が判明しました。保健所の調査の結果、感染予防対策が図られているとのことで濃厚接触者の特定はなく休まずに営業出来ました。

④働きやすい職場作り

- ① 朝夕の申し送り、ミーティングノートの活用により職員間のコミュニケーションを良好に取り合い円滑な職場作りを心掛けました。
- ② 人員配置の適正化や、タブレット導入により業務効率が良くなり超過勤務を縮減できました。有給休暇の取得しやすい環境をつくり休暇取得を推進しました。
- ③ コロナウイルス感染症拡大防止の為、新規ボランティア受け入れは中止しましたが、屋外の園芸ボランティアは活動していただきました。

⑤地域貢献への取り組み

- ① 家族介護者教室は感染対策を行い10月と3月に開催しました。
- ② 運営推進会議を9月と3月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、文書による報告を行いました。
- ③ 新型コロナウイルス感染症予防の為、旭町第二保育園との交流会、福祉避難所としての地域防災活動は、中止となりました。

令和2年度新規及び平均利用者数【表1】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	26	23	26	27	26	26	27	25	24	23	24	27	304
延べ利用者数(名)	256	258	306	331	314	296	311	297	267	228	244	278	3386
平均利用者数(名)	9.8	11.2	11.8	12.3	12.1	11.4	11.5	11.9	11.1	9.9	10.2	10.3	11.1
新規利用者数(名)	2	0	0	3	0	1	2	2	0	0	2	2	14
SPOT利用者数(名)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	4	4	12
稼働率(%)	41.0	46.7	49.0	51.1	50.3	47.4	48.0	49.5	46.4	41.3	42.4	42.9	46.4

時間帯別延べ利用者数【表2】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	時間帯別比率
3時間-4時間	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.29%
4時間-5時間	2	1	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	7	0.21%
5時間-6時間	94	98	109	82	71	73	71	62	62	54	56	56	888	26.2%
6時間-7時間	99	111	118	83	78	66	71	66	62	51	56	63	924	27.2%
7時間-8時間	61	48	78	165	84	84	95	95	68	59	64	82	984	29.0%
8時間-9時間	0	0	0	0	50	46	38	44	49	36	41	41	345	10.1%
9時間-10時間	0	0	0	0	29	26	35	30	26	28	27	36	237	7.0%
延べ利用者数	256	258	306	331	314	296	311	297	267	228	244	278	3386	100%

介護度別利用者数【表3】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	介護度別比率
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要介護1	7	7	6	8	8	7	8	9	7	8	9	8	92	22.2%
要介護2	7	10	11	9	11	9	6	8	8	6	5	7	97	23.4%
要介護3	11	12	13	13	17	16	15	15	13	13	12	12	162	39.0%
要介護4	4	3	5	5	4	4	4	4	3	3	3	4	46	11.1%
要介護5	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18	4.3%
合計	30	33	36	36	41	37	35	38	33	32	31	33	415	100%

利用者 年齢構成【表4】

年齢	男性(名)	女性(名)	合計(名)	利用者年齢構成比率
90歳以上	2	9	11	33.3%
85歳以上89歳以下	1	5	6	18.2%
80歳以上84歳以下	3	7	10	30.3%
75歳以上79歳以下	3	2	5	15.2%
70歳以上74歳以下	1	0	1	3.0%
66歳以上69歳以下	0	0	0	0%
64歳以下	0	0	0	0%
合計	10	23	33	100%

2020年度

第3 育秀苑訪問介護事業 事業報告

2020年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 法人理念と基本精神を基に、コロナ禍において感染予防策を徹底し、住み慣れた我が家で安心して住み続けるための支援に努めました。
- ② 緊急事態宣言に伴い、合同サービス提供責任者会議年2回の開催のうち1回は書面で行い、法人内の共通認識を図りました。
- ③ 第3 育秀苑ミッション「together 共に笑い 共に寄り添い 共に歩む」を念頭にしたサービスを提供できるように周知し、利用者から笑顔が見られる介護に努めました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、定期的な研修は開催できなかったため、接遇に関しては、利用者の人権尊重、個々の職員の接遇力向上について資料を配布し周知しました。また、厚生労働省が発信しているWEB研修等でさまざまな情報を得る事ができ、現場で活かすことができました。
- ② 利用者からの要望は、家族やケアマネジャーに相談し、話し合い、誠意を持って対応しました。利用者満足度調査の結果は、回収率66%、「満足」との回答は95%ありました。

3 経営基盤の安定

- ① 居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと利用者の情報共有に努め、新規利用者は平均月2件でしたが、入院・終了ケースもあり、件数の増加までには至りませんでした。また、新型コロナウイルス感染症の影響での利用控えもありました。
- ② ヘルパーの各種資格取得の情報提供や奨励を行い、1名介護福祉士の資格取得に繋がりました。
- ③ BCPに基づき、災害発生時の行動や利用者の緊急連絡先や避難場所を確認するよう周知しました。

4 働きやすい職場作り

- ① 練馬区主催の合同就職説明会に参加し、総合事業ヘルパー1名の新規入職に繋がりました。
- ② サービス提供責任者の時差出勤による業務分担を図り、残業の軽減や効率化に取り組みました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと協働し、利用者の住んでいる地域の情

報を共有し、住み慣れた地域で自立して生活できるよう努めました。

- ② 施設で行う防災訓練に参加しました。地域行事については新型コロナウイルス感染症予防のため開催されませんでした。

【表1】

登録者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣数	92	88	92	93	92	93	91	95	92	92	89	91	1100 (1051)	92 (88)
新規契約	3	3	4	1	4	0	3	5	0	3	1	2	29 (36)	2 (3)
入院	3	2	1	3	3	3	2	2	1	1	1	0	22 (32)	2 (3)
廃止	0	4	4	3	0	1	2	2	2	0	0	1	19 (25)	2 (2)
派遣時間	650.0	668.4	699.4	738.4	676.2	680.9	729.5	689.2	697.3	617.5	630.1	734.1	8,210.9 (8,162)	684 (680)

()内は昨年度

【表2】

サービス種別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	昨年度
生活援助	37.8%	38.2%	36.0%	32.7%	32.3%	33.7%	39.3%	40.2%	43.1%	42.9%	39.1%	36.8%	37.7%	28.3%
身体介護	12.7%	13.3%	12.0%	12.4%	13.8%	13.4%	15.8%	14.3%	12.5%	13.8%	17.5%	16.2%	14.0%	24.6%
身体生活	25.0%	25.0%	26.4%	26.3%	26.4%	26.8%	21.5%	23.3%	23.1%	22.0%	22.3%	26.2%	24.5%	27.6%
総合事業	25.3%	23.5%	25.6%	28.6%	27.5%	26.2%	23.4%	22.2%	21.3%	21.4%	21.1%	20.8%	23.9%	20.5%

【表3】

介護度分布

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
事業対象者	6	5	6	6	7	6	5	5	4	5	4	4	63	115
要支援1	16	14	15	15	15	16	13	13	13	13	14	13	170	91
要支援2	16	15	19	19	21	17	18	19	18	16	16	17	211	148
要介護1	21	21	18	17	16	17	18	22	21	21	21	21	234	261
要介護2	23	24	21	23	23	22	26	26	25	25	22	24	284	269
要介護3	4	3	6	6	6	6	4	4	5	5	4	4	57	91
要介護4	4	4	5	5	6	7	5	5	5	5	4	4	59	40
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	4	4	26	33
自費サービス	10	7	7	8	10	8	6	6	13	6	7	7	95	30
合計	102	95	99	101	106	101	97	101	105	98	96	98	1,199	1,078

2020年度

第3 育秀苑居宅介護支援事業 事業報告

2020年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 法人理念・基本方針を基に、利用者の尊厳を遵守し、その人らしい生活が継続できるようニーズに沿ったケアマネジメントを提供し、利用者の選択に基づいたサービスが総合的かつ効率的に提供されるように心がけ調整しました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大の中、ケアマネジャーの訪問は利用者の希望に添い控え、介護サービスの利用控えを希望される利用者には、状況の変化等に留意し必要なサービスが継続できるケアマネジメントを心がけました。
- ② ケアプラン作成にあたり、利用者のライフスタイルを把握し、複数の事業者を紹介することで利用者本位のサービスを提供しました。また、介護保険の趣旨に従い、利用者や家族に分りやすい説明を心がけました。
- ③ 新型コロナウイルス感染防止の観点から多くの研修が未開催となったため、光が丘圏域で開催される研修をはじめ、区内にある職能団体が企画する研修等に参加し、ケアマネジャーの質の向上に努めました。
- ④ 「お客様満足度調査」を実施し、概ね満足しているとの回答を頂きました。

3 経営基盤の安定

- ① 認知症・医療依存度の高いケースの事例検討会議に参加し、介護支援専門員として必要な知識や技術を深め多職種との連携について学びを深めました。また他法人の居宅介護支援事業所と事例検討会を開催し、特定事業所加算Ⅲを継続することができました。
- ② 前月給付件数を下回らないように新規利用者を増やす努力をしましたが、給付件数90件を達成することができませんでした。
- ③ 最新の情報を収集し、「介護報酬」「運営基準の変更」「加算要件の変更」等に対応し、減算のないケアプランを作成しました。

4 働きやすい職場作り

- ① 朝のミーティング、週1回の定例会議を開催し、感染症対策に関する情報や行動指針などを共有することで、ケアマネジメントの質の向上を図りました。
- ② 業務分担表等を作成し、業務の効率化を図り、前年度と比較し超過勤務を縮減し有給休暇取得率も向上しました。
- ③ 予定していた全ての研修に参加することは困難でしたが、それぞれが決めたテーマについて学びを深められたことは大きな収穫になりました。

5 地域貢献への取り組み

地域ケアセンター会議に参加し、認知症についての講義をはじめ民生委員やサービス事業所等と地域課題の共有を行いました。

要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	3	3	3	3	8	3	3	6	6	6	6	4	30(62)
要介護1	22	25	22	23	20	21	22	25	23	24	24	26	277
要介護2	32	35	33	32	36	35	38	35	35	35	35	33	414
要介護3	8	8	10	14	15	13	14	13	11	8	8	7	129
要介護4	3	5	5	5	5	8	6	7	6	7	7	10	74
要介護5	2	1	3	3	2	1	1	4	3	3	4	6	34
介護合計	67	74	72	77	78	78	82	84	78	77	78	82	928(942)

※ () 内は前年度の数字

2 0 2 0 年 度
事 業 報 告

練馬区委託事業

2020年度

練馬区委託事業地域包括支援センター事業報告

(桜台・第2育秀苑・第3育秀苑)

1. 事業運営の基本方針

地域住民の心身の健康保持、及び生活の安定のために必要な援助を行い、高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活を継続できるよう包括的に支援することを目的として業務を行っています。

地域の高齢者やその家族、それらを取り巻く関係機関の総合相談窓口として活動してきました。その結果を報告します。

【表1】担当地域

担当地域	
桜台	桜台
第2育秀苑	旭丘・小竹町・羽沢・栄町
第3育秀苑	旭町・土支田1丁目・土支田4丁目

2. 主たる事業内容

1) 総合相談業務

①総合相談業務

地域の身近な相談窓口としての機能を果たすために、町会や民生委員、医療機関やサービス事業所への周知活動を行いました。また、介護に関する相談だけでなく、保健医療や福祉、生活に関することなど多様なニーズや相談を総合的に受け止め、必要な情報提供、多様な社会資源を有機的に結び付ける包括的な支援を行ってきました。

【表2】相談内容 総合相談件数実績 (単位：件)

相談内容別件数									
	施設	在宅福祉サービス	経済的事項	家庭的事項	住宅	介護保険	介護予防	その他	合計
桜台	186	240	56	102	68	1,493	3,689	524	6,358
第2育秀苑	153	762	238	875	66	1,089	3,137	595	6,915
第3育秀苑	124	143	64	72	15	537	3,036	1,154	5,145

【表3】相談手段別 総合相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	1,844	322	4,176	16	6,358
第2育秀苑	1,839	355	4,705	16	6,915
第3育秀苑	1,338	181	3,612	14	5,145

②地域におけるネットワーク構築

【表4】ネットワーク構築の為の活動

活動内容	
桜台	民生・児童委員との連絡会に出席(1回/月) 地域別民生委員との情報交換会(3回/年) 豊玉・練馬地区地域密着型連携支援事業への参加(6回/年) 練馬区地域生活支援サービスの充実に関する協議体(つなぐ会)への参加(2回/年)
第2育秀苑	民生児童委員との連絡会に出席 町名ごとの民生委員との意見交換会の実施 町会主催の認知症に関する勉強会への参加や講座の開催(5か所/年)
第3育秀苑	民生委員との情報共有(各活動地域ごと年1回)※コロナのため開催できず 光が丘圏域内の介護支援専門員支援のためのZOOM研修(年4回)※7包括合同

③安否確認

【表5】通報・安否確認件数実績

通報者	介護事業者、金融機関、医療機関等	地域住民、自治会、コンビニ等	安否確認合計
桜台	12	15	27
第2育秀苑	10	4	14
第3育秀苑	4	3	7

2) 権利擁護事業

①高齢者虐待への対応

地域住民や民生委員、介護支援専門員だけでは解決できない困難事例や高齢者虐待、消費者被害の早期発見および地域住民からの相談の対応を行いました。区が開催するコア会議に出席し、虐待の有無の判定及び支援方針の決定と対応を行いました。

②成年後見制度の利用支援

成年後見制度、地域福祉権利擁護事業など、適切な制度が活用できるよう練馬区および社会福祉協議会と連携し、援助を行いました。

③消費者被害の防止

地域住民対象の勉強会、消費生活支援センターへの相談、助言を受けるなど被害防止の取り組みと、関係機関への周知活動・継続的な見守りを行いました。

【表 6】 権利擁護実績（単位：件）

権利擁護支援対応件数					
項目	虐待	成年後見	消費者被害	その他	合計
桜台	52	35	1	2	90
第2育秀苑	89	147	1	31	268
第3育秀苑	288	110	0	32	430

3) 包括的・総合的ケアマネジメント事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう支援をするために、主治医や関係機関、介護支援専門員等との連携に努めた他、病院から在宅へ、サービスが途切れることなく利用できるよう、病院・薬局等の医療機関や介護支援専門員、サービス事業者等との調整を行いました。また、常に情報収集を行い、地域の介護支援専門員や民生委員との関係作りに努めました。

介護支援専門員については、個々の高齢者の状況に応じ、適切かつ継続的なサービスが提供される調整を担えるよう、介護支援専門員の資質の向上となることを意識した支援を行いました。また、困難事例については居宅介護支援事業所と緊密な連携を図り、より適切にかつ迅速な対応を目指し、介護支援専門員の後方支援を行いました。

【表 7】 包括的・継続的ケアマネジメント支援実績（単位：件）

包括的・継続的ケアマネジメント支援実績件数						
	連絡会の開催	プラン指導	サービス担当者会議開催支援	個別指導相談対応	その他	合計
桜台	2	5	5	85	4	101
第2育秀苑	0	2	4	189	16	211
第3育秀苑	1	10	20	314	63	408

4) 在宅医療介護連携の推進

医療・介護推進員を1名配置し医療と介護の相談窓口を設置しました。

地域の有床病院の医療相談員との連携、地域の病院や医院とつながりを築き、高齢者が必要とする医療が受けられるよう、寄り添いながら支援を行いました。

【表 8】 医療・在宅療養相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	33	7	191	1	232
第2育秀苑	21	5	131	1	158
第3育秀苑	114	18	428	3	563

【表 9】医療・在宅療養相談内容 総合相談件数内訳（単位：件）

相談者				相談内容				相談内容の連絡先			
項目	桜台	第2	第3	項目	桜台	第2	第3	項目	桜台	第2	第3
本人・家族	46	53	197	受診に関する相談	38	38	154	解決	84	47	165
ケアマネジャー	8	9	49	入院に関する相談	47	18	51	新規紹介	32	22	53
病院	147	91	192	退院に関する相談	66	51	55	かかりつけ医	14	3	68
診療所	27	0	59	退院カンファレンスの参加	25	6	33	ケアマネジャー	10	11	44
介護サービス事業者	2	2	5	介護サービス等の相談	31	20	125	介護サービス	67	15	36
その他	5	2	61	その他	28	25	145	その他	28	59	197

5) 認知症施策の総合相談

認知症地域支援推進員を1名配置し、相談窓口を設置しました。

認知症地域支援チーム員会議に出席、認知症に関する講座を開催しました。

認知症になっても在宅で暮らし続けたい声に添い、地域づくりの取り組みを継続しています。

【表 10】認知症施策相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
項目	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	47	16	101	4	168
第2育秀苑	70	7	155	3	235
第3育秀苑	50	19	66	0	135

【表 11】 認知症施策相談内容 総合相談件数内訳（単位：件）

	項目	桜台	第 2 育秀苑	第 3 育秀苑
相談者	本人・家族	87	136	81
	ケアマネジャー	16	20	13
	病院	51	25	19
	介護サービス事業者	10	4	4
	その他	15	49	18
相談内容	医療に関する相談	17	17	16
	入院に関する相談	8	13	6
	認知症症状および対応に関する相談	105	64	64
	生活機能障害	17	0	13
	生活支援・介護サービス等の相談	11	10	17
	権利擁護に関する相談	3	3	16
	その他	8	128	3
相談内容の連絡先	継続支援	94	193	85
	認知症専門相談の利用	14	5	1
	認知症専門病院	18	4	24
	かかりつけ医	9	0	6
	医療機関の新規案内	7	1	0
	ケアマネジャー	3	11	6
	介護保険サービス	9	3	5
	区福祉サービス	3	1	0
	権利擁護事業	1	2	3
	その他	8	11	1

6) 地域ケア会議

①地域ケア会議

ア) 地域ケア個別会議では、個別のケース検討を通じ、高齢者の課題解決を支援するとともに、課題解決に向けた社会資源の把握やネットワーク構築を目的に概ね月 1 回感染対策を行い開催しました。

イ) 地域ケア予防会議では、ケアマネジメントおよび専門職の資質向上を目的に、年 2 回練馬区で開催され、介護予防・生活支援サービスまたは訪問介護多回数のケースについて、自立支援・重度化防止およびより楽しみのある暮らしに向けて検討を行いました。今年度はコロナ感染予防のため緊急事態宣言により中止または、書面開催となりました。

ウ) 地域ケアセンター会議では、個別会議と予防会議を通じて抽出された地域課題について、地域の関係者で話し合いをしました。コロナ禍の開催のため書面開催または、人数制限等、感染予防対策を徹底して開催しました。

【表 12】 地域ケアセンター会議（単位：件）

項目	
桜台	「今、桜台が狙われています！詐欺の手口を知り 高齢者の財産を守りましょう！」 地域に必要な社会資源は何か？ 「桜台地域 通いの場について」（書面開催）
第2 育秀苑	「新しい日常のなかで からだと心の健康を保つ」 「なくなる消費者被害から高齢者を地域で守るために ～気付くにはどうするか、気付いたらどうするか～」
第3 育秀苑	「もっと知ろうほっとサポートねりま」 「成年後見制度を身近なものにしよう」

7) 介護予防ケアマネジメント業務

①介護予防サービスの利用支援

要支援・要介護認定を受けていない区内在住の65歳以上で、区から送付された基本チェックリストにおいて介護予防事業への参加が必要と判断された方に対し、区が指定する事業（運動機能向上、栄養改善や口腔機能向上、いきがいデイサービス等）へのコロナ禍の社会情勢に合わせて参加支援を行いました。

②介護予防ケアマネジメント

介護予防・生活支援サービス事業では、介護予防・日常生活総合支援事業に該当する利用者および要支援1・2の認定を受けている利用者の心身の状況や置かれている環境を把握、生活課題を整理し、介護予防サービス計画を作成しました。緊急事態宣言中は、利用者・家族の意向を確認して、生活目標の達成に向けた支援・ケアマネジメントを行いました。

【表 13】 介護予防ケアマネジメント件数実績（単位：件）

介護予防ケアマネジメント件数					
	作成者別		サービス別		合計
	センター作成分	居宅委託分	予防給付	総合事業	
桜台	1,259	305	667	897	1,564
第2 育秀苑	1,075	1,160	975	1,260	2,235
第3 育秀苑	1,256	688	779	1,165	1,944

8) 生活支援体制整備

生活支援サービスの充実に関する協議会に年2回、地域密着型連携支援事業における情報交換会に年2回参加し、地域活動支援をしている団体や事業所との連携体制を深めました。（桜台・第2 育秀苑）

9) ひとり暮らし高齢者等訪問支援

【表 14】ひとり暮らし高齢者等訪問支援人数実績（単位：人）

ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業対象の人数			総数
桜台	75歳以上	314	366
	65歳以上 75歳未満	52	
第2育秀苑	75歳以上	241	269
	65歳以上 75歳未満	28	
第3育秀苑	75歳以上	219	236
	65歳以上 75歳未満	17	

【表 15】訪問支援協力員の活動件数実績（単位：人）

		登録数	実施数	総数
桜台	訪問支援対象者	17	370	830
	協力員	12		
	センター職員対応	17	460	
第2育秀苑	訪問支援対象者	13	224	573
	協力員	4		
	センター職員対応	5	349	
第3育秀苑	訪問支援対象者	8	104	323
	協力員	6		
	センター職員対応	2	219	

10) 出張型街かどケアカフェ

地域の高齢者の介護予防や交流、相談援助を目的とした集いの場や出張相談を開催しました。緊急事態宣言発出にて区からの指示に従い開催を見合わせたため、計画通りの開催には至りませんでした。

【表 16】出張型街かどケアカフェ実績

出張型街かどケアカフェ（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
桜台地域集会所	11	172
桜台地区区民館	6	90
育秀苑	0	0
グレースメイト	0	0
カルーチェ	3	6
合計	20	268

出張型街かどケアカフェ（第2育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
たむら薬局	2	10
栄町敬老館	5	26
鶴の里ホール	7	68
旭丘地域集会所	1	12
小竹地域集会所	1	12
合計	16	128

出張型街かどケアカフェ（第3育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
第3育秀苑	0	0
旭町北地区区民館	3	37
旭町地域集会所	3	27
合計	6	64

1 1) 福祉用具貸出事業

病気やけがなどにより福祉用具が一時的に必要な方、購入前に試用してみたい方を対象として、1週間程度の貸出を行いました。使用に関する相談や、用具の点検、修理も随時行いました。

【表 17】 福祉用具貸与件数実績

	福祉用具貸与事業実績				
	車いす	シルバーカー	シャワーチェア	浴槽いす	その他
桜台	65	6	7	1	4
第2育秀苑	35	7	1	0	10
第3育秀苑	22	2	2	3	9

1 2) はつらつシニアクラブ

緊急事態宣言発出により前半の開催が中止となりました。後半は感染予防対策を徹底し予定通り実施され、健康増進や介護予防に関する助言や活動勧奨を行いました。

1 3) その他

練馬区から依頼を受け、認定調査を実施しました。練馬区が開催する会議への参加をしました。また、各高齢者施策担当係と連携し、事業運営の協力をしました。

3. 職員配置

【表 18】職員配置人数

	桜台	第2育秀苑	第3育秀苑
法定三職種 主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師（看護師）	3名	3名	3名
介護予防ケアマネジメント担当	2名	2名	2名
訪問支援員	2名	2名	2名
事務員	0.5名	0.5名	0.5名
合計	7.5名	7.5名	7.5名

4. 定例会議

3カ所の地域包括支援センターの知識や技術の向上と平準化を目的とし、専門職会議を開催しました。

【表 19】会議開催回数

地域包括支援センター会議	4回（5月、9月、11月、1月）
リーダー会議（主任介護支援専門員）	4回（4月、7月、12月、2月）
保健師会議	3回（4月、7月、10月）
社会福祉士会議	3回（7月、10月、3月）
訪問支援員会議	2回（8月、11月）
介護予防ケアマネジメント担当会議	4回（6月、9月、12月、3月）

5. 参加する研修会等

感染症拡大により中止になった研修もありましたが、後半はオンライン開催となりコロナ関係の研修にも積極的に参加しました。

【表 20】研修参加状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
桜台	東京都	0	1	0	4	4	1	5	0	12	3	0	0	30
	練馬区	0	2	0	0	1	5	4	11	1	5	11	7	47
	その他	0	0	1	2	2	2	0	2	2	2	0	0	13
第2	東京都	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	1	1	7
	練馬区	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	5
	その他	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
第3	東京都	0	0	0	0	0	0	5	5	2	0	0	0	12
	練馬区	0	0	0	3	2	2	0	3	2	0	0	0	12
	その他	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	6

【表 21】研修参加一覧

桜台	第 2 育秀苑	第 3 育秀苑
区市町村介護予防事業担当者向け研修	処置が必要な人への理解を深める	看取りを見据えて
N-IMPRO リーダー研修	利用者・家族からの暴力・ハラスメントの予防と対策	若年性認知症について
利用者の尊厳の保持と「自立支援のアセスメント」	今井塾！介護保険制度における介護支援専門員の役割	養護者における高齢者虐待の防止と対応
福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」	令和 2 年度 入退院時連携強化研修	実務に役立つ成年後見制度
新型コロナ感染防止に対して介護支援専門員として知っておきたい知識や取り組みについて	認知症と人生会議	今井塾！医療保険制度のしくみと後期高齢者医療制度
人生会議（ACP）それは本当に本人の本心なのか	入院時情報提供の記入・活用について学び、医療との連携に活かそう	家族会連絡会
高齢者虐待における家族の関係性に焦点をあてた支援と介入	令和 2 年度 認知症初期集中支援チーム員研修会	今井塾！年金制度のしくみと高齢者の所得保障
質の向上ガイドライン「ケアプラン転写コース」	多様性を理解する	在宅療養に関する研修（2 回）
在宅介護の訴訟問題と対応策	2020 年度 認知症地域づくり支援研修 with コロナ時代の「居場所」「つながり」のかたち・感染症流行化に認知症高齢者・家族の社会的孤立をどう防ぐか	主任介護支援専門員更新研修（8 回）
医療連携のワークショップ	令和 2 年度 「東京ホームタウンプロジェクト」地域のつながりを住民主体で守り、広げるには	繋げてみよう ZOOM の使い方
若年発症難病患者の憂いあなたは誰に何をしてもらいたいのか？	COVID-19 感染症対策最新の地権と正しい予防策について	令和 2 年度 認知症初期集中支援チーム員研修
福祉施設感染対策研修	令和 2 年度ケアマネジメントの質の向上研修	地域ケア会議実践者養成研修
スーパービジョン研修		非常災害時の対応について
アドバイザー養成研修（地域同行型研修）		訪問支援員研修
統合失調症患者の高齢期の支援		コロナ禍におけるケアマネジメントについて
高次機能障害者相談支援研修		新型コロナウイルス感染症における在宅療養者・家族の希望に沿った支援について
介護予防フレイル予防推進員研修		社会福祉士実習指導者研修（2 回）
地域精神保健福祉関係者連絡会		With コロナ時代研修（2 回）
自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者養成研修事業		高齢者の食事と栄養の基礎知識
東京都入退院時連携強化研修		認知症の方の不安や混乱を安心に変えるケア
練馬区市民後見人当養成研修応用研修		
介護家族の支援と必要性とアセスメント		
意思決定支援を踏まえた高齢者虐待対応研修		
令和 2 年度若年性認知症相談支援研修		
2021 介護報酬改定ポイント研修		
何ができるの呼吸リハの基本と実践		
介護報酬改定の勉強会		
コロナ禍でのケアマネジャーのプロセス		
情報セキュリティ研修		
東京都介護支援専門員更新研修実務未経験者研修		
家族会連絡会		

2020年度 練馬区委託事業報告

高齢者世帯訪問支援業務

1. 事業運営の基本方針

65歳以上の者のみで構成される生活保護を受給している世帯に対し、居宅を訪問し生活状況の把握、日常生活における課題に対して助言を行うなどの支援また社会とのつながりが持てるようにその世帯が地域の中で孤立せず安心して暮らせるように支援を行いました。また、身体の衰えなどの理由により日常生活で介護などのサポートが必要となった方に対し、地域包括支援センター職員と連携し、介護保険制度の利用に繋げるなどの支援を行いました。その結果を報告します。

2. 主たる事業内容

(1) 定期訪問支援業務（4か月に1回実施）

	担当地域	担当世帯数
桜台	桜台1～6丁目・練馬2丁目	271
第2育秀苑	栄町、旭丘1丁目・2丁目、羽沢1丁目～3丁目、小竹町1丁目・2丁目、豊玉上1丁目・2丁目・豊玉北1丁目～3丁目	263

今年度は緊急事態宣言の中で、感染拡大に考慮しながら個別訪問を行ってまいりました。

① 人と社会の繋がりが保てるように働きかけを行う支援

	達成人数	継続支援（手段）
桜台	0人	6人（定期訪問・ケアカフェへの参加）
第2育秀苑	4人	9人（定期訪問）

- ② 健康寿命の延伸に関する支援では、全ての方に健康診断の勧奨を行いました。また、健康診断の結果の聞き取りや地域活動の情報提供を行うことで、健康に関心を向けるように働きかけを実施しました。検診への同行を行う事で医療機関への関心を深めていただきました。

(2) 日常生活支援業務

① 日常生活支援事業

	対象者
桜台	81人
第2育秀苑	46人

担当ケースワーカーと連携を取りながら、見守り強化や各種手続き支援等を実施しました。

② 夏季の見守り強化の支援

	対象世帯	見守り手段	対応件数
桜台	99 件	電話	951 件
		訪問	80 件
第 2 育秀苑	79 件	電話	694 件
		訪問	85 件

(3) 連絡会議等への出席

福祉事務所保護係と定例連絡会に毎月出席し、担当ケースワーカーへ報告および相談をして、連携して支援する体制をとりました。また、連絡会での一口講座から日々の対応に必要なスキルを学び資質の向上を図りました。

(4) 練馬総合福祉事務所へ報告

実績報告の他、福祉事務所から依頼のある調査に協力しました。

3. 職員配置

支援対象者世帯が 150 世帯ごとに 1 名の生活支援員と現場責任者 1 名を配置しました。
(生活支援員は高齢者の居宅生活支援に関する知識を有する介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員等の資格を有する者)

	桜台	第 2 育秀苑
現場責任者	1 名	1 名
生活支援員	2 名	2 名
計	3 名	3 名

4. 重要な取り組み課題

(1) 育秀会として、先駆的・独自性を発揮する

- ①地域で暮らすその人が生活の中で感じる不安や孤独を見過ごさずに、その人の声に真摯に耳を傾けて向き合う生活支援員を意識して訪問支援を行いました。
- ②困難な課題を抱える方には、担当ケースワーカーと地域包括支援センター職員との連携を取りながら支援を行いました。
- ③個人や世帯の問題が自らの力で解決に繋がるよう、その人に寄り添いながら支援を行いました。

(2) サービス向上に対する取り組み

その方の置かれている環境や状況を理解と、専門性を意識し、相談援助能力の向上に努めました。

(3) 経営基盤の安定

定例の連絡会に出席して、ケースワーカーと連携した対応ができる体制を取りました。

(4) 働きやすい職場作り

センター内では、月 2 回のケースの共有や対応方針を検討する機会を持ち、チームで相談しやすい関係を保ち、その人にあった支援方針を検討する機会を作っていました。

(5) 地域貢献への取り組み

地域の方が集い活動している場の情報収集をして、活動を求めている方とのマッチングを行い、その方とその会の力に貢献できました。地域の社会資源の情報を提供しながら、地域の民生委員やその他の関係者と連携を図り、地域活動へ協力しました。

2020年度 練馬区委託事業報告

羽沢高齢者集合住宅における生活協力員

1. 事業運営の基本方針

羽沢高齢者集合住宅の入居者 36 世帯、41 名の方に対して、月 1 回訪問にて面談を行い実態把握し、各相談に対応してきました。その結果を報告します。

2. 主たる事業内容

(1) 入居者の実態把握および練馬区への報告書作成

4 月に年 1 回の入居者基本台帳を作成しました。

月 1 回、感染予防対策を徹底した上で訪問面談を行い、生活実態の把握を行いました。

(2) 居室の鍵の預かり・管理、点検業者への貸出

点検業者による緊急通報装置と火災感知器の定期点検時に鍵管理室の鍵を貸し出し、管理簿にて管理確認を行いました。

(3) 近隣・親族等からの通報による安否確認

住民からの通報が 3 件あり、地域包括支援センターと連携して安否確認を行いました。2 件は自宅から出て別のフロアへ移動され、自宅が分からなくなっていた為、自宅にご案内しケアマネジャーへ報告をしました。もう 1 件は建物の外に出てうずくまっていたところ警察に保護され、警察・ケアマネジャーと連携して自宅にご案内しました。その後も相談を継続して安心できる暮らしに向けた調整を支援しました。

(4) 必要時に応じて関係機関との連絡

介護保険サービスを利用している方については、月 1 回担当ケアマネジャーから情報収集を行い、緊急時の連携に備えました。

(5) 練馬区からの連絡文書の配布

訪問日のお知らせ、練馬区から依頼があった場合に文書の配布を行いました。

(6) 消防署による防災（避難）訓練の実施

練馬区住宅課、地域の協力業者と自衛消防訓練（避難訓練）を 2 月に行いました。

3. 職員配置

社会福祉士、介護福祉士それぞれの資格を有する者 2 名、責任者 1 名を配置しました。

4. 重要な取り組み課題

(1) 育秀会として、先駆的・独自性を発揮する

住民が安心して暮らすことが出来るよう、練馬区や介護保険サービス事業者、関係者と連携できる体制づくりに取り組みました。

(2) サービス向上に対する取り組み

住民が集いやすい場として、併設のホールで開催されている事業や地域になる活動などの勧奨を行いました。

(3) 経営基盤の安定

住民や近隣の方からの通報には、地域包括支援センター職員と連携して対応しました。

(4) 働きやすい職場作り

月1回の訪問面談の後に、センター内で共有し支援方針を検討する場を持ち、相談や援助の対応ができる体制をとってきました。

(5) 地域貢献への取り組み

鶴の里ホールで開催される自主活動やサークルへの勧奨を行いました。